

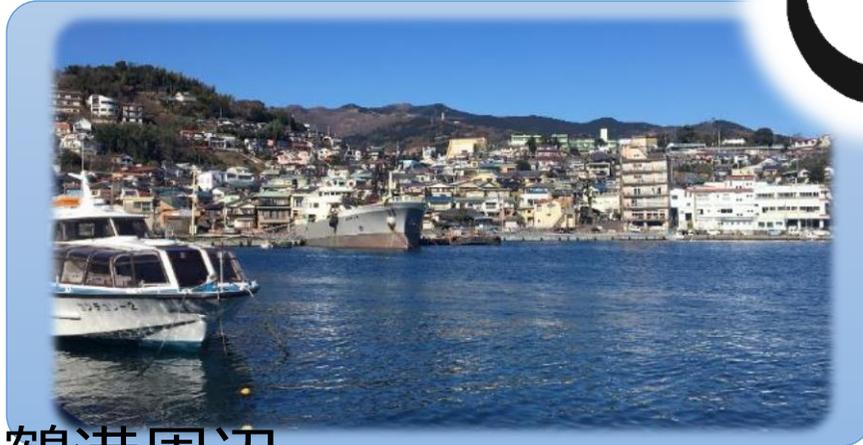
真鶴町グランドデザイン

～100年経ってもにぎわいのある町～

岩漁港周辺



真鶴半島



真鶴港周辺



真鶴駅周辺

平成31年3月 真鶴町

目次

∞ はじめに.....	- 1 -
∞ グランドデザイン策定の目的.....	- 4 -
∞ 未来のために持つべき視点.....	- 5 -
∞ グランドデザインに必要な視点.....	- 6 -
∞ グランドデザインの方針.....	- 7 -
∞ 真鶴町のポリシー.....	- 8 -
∞ グランドデザインを推進するうえでの課題.....	- 9 -
∞ 長期的な将来イメージ.....	- 10 -
∞ グランドデザイン 主要地区の設定.....	- 11 -
<u>各地区グランドデザイン</u>	
∞ 岩漁港周辺地区 ∞∞.....	- 15 -
∞ 真鶴半島地区 ∞∞.....	- 18 -
∞ 真鶴港周辺地区 ∞∞.....	- 21 -
∞ 真鶴駅周辺地区 ∞∞.....	- 24 -
∞ グランドデザインのキャッチフレーズ.....	- 27 -

資料

∞ はじめに

策定の背景・趣旨



真鶴町はこれまで、豊かな自然と美しい風景を守りながら、少子高齢化社会にあっても、町民一人ひとりが支え合いながら暮らしの質を高めていく独自性をもったまちづくりを進めてきました。

行政運営では、「未来を築くビジョン（第4次真鶴町総合計画）」を基盤とし、人口減少に対して先導的に実施する地方創生事業を「真鶴町人口ビジョン」、「真鶴町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けて展開してきました。

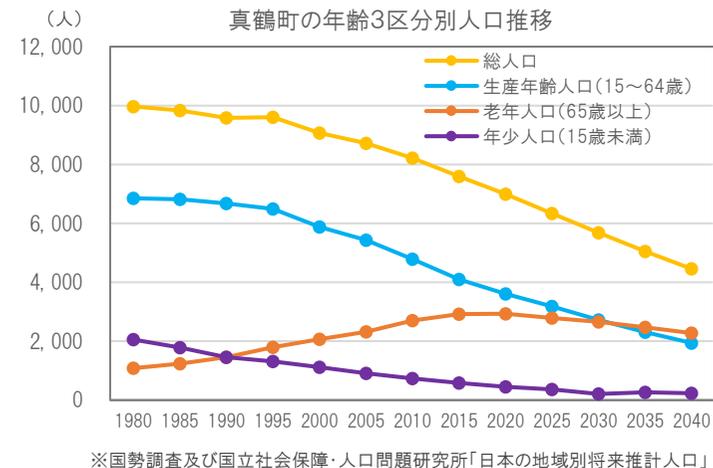
しかし、本格的な人口減少社会に突入し、今や真鶴町は「消滅可能性が高い」自治体の1つとされています。また、平成29年4月、神奈川県では

唯一「過疎地域」に指定されました。今後さらなる人口減少や高齢化の進展が予想されています。

真鶴町がこの先、何十年にもわたって自立していくためには、長期にわたる町の方向性を描き、これまでバラバラに進んできた町の各事業についても、統一の方向性をもって推進していく必要があります。

真鶴町ランドデザインは、町が今後も自立していくために、町に住む人の利便性を高めるとともに、町外の人からも魅力的に映るような、町が目指していく姿を描いた青写真となるものです。

なお、本書中に示す今後の取り組み案やイメージパース（構想図）は、今後の開発、整備や事業を決定、拘束するものではなく、まちづくりの方向性を示すものです。町が今後、具体的な事業として推進する際には、真鶴町ランドデザインを参考に推進していきます。

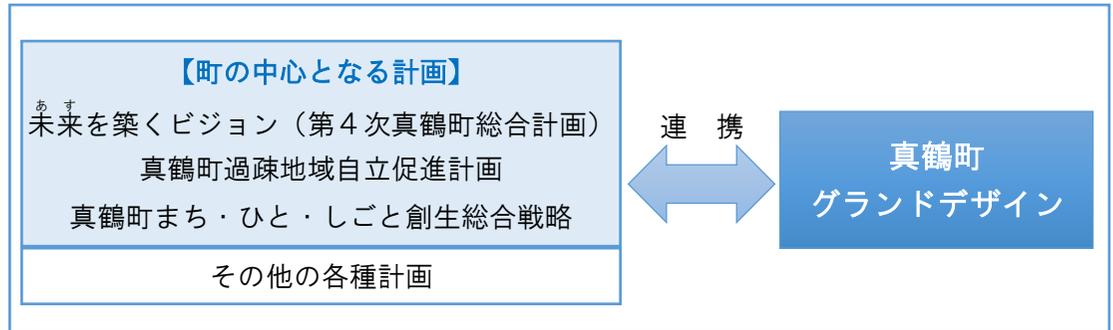


グランドデザインの位置付け

真鶴町グランドデザインは、「^{あす}未来を築くビジョン（第4次真鶴町総合計画）」、「真鶴町過疎地域自立促進計画」、「真鶴町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連携していくものとしします。

また、真鶴町グランドデザインは、町の各種計画と上位下位の関係にはなく、また法的拘束力もありませんが、まちづくり、町政の方向性、町が取り組んできたことを集約して策定し、今後のまちづくりの指針となるものとしします。

なお、真鶴町グランドデザインは、町を取り巻く状況により、見直しを行います。



協働による策定

真鶴町グランドデザインは、町の長期の方向性を検討していくものであるため、町民の皆さんの声を聞く機会を設定しました。また、町の関係者との協議や町役場の若手職員を対象としたワーキングも実施し、町全体での策定を図りました。



住民との検討会

グランドデザインについて、多くの住民の方々からご意見をいただきました。

協議の経緯

日程	協議等
8月	町役場若手職員ワーキング①
9月	【岩漁港】関係者協議① 【真鶴駅】関係者協議①
10月	庁内調整会議① 【真鶴半島】関係者協議① 【真鶴港】関係者協議① 住民との検討会①（町民との意見交換会） 町役場若手職員ワーキング②
11月	【真鶴駅】関係者協議② 【岩漁港】関係者協議② 【真鶴港】関係者ヒアリング 庁内調整会議② 【真鶴半島】関係者協議② 住民との検討会②（11/23・11/28）
12月	子育て世代との懇談会
1月	庁内調整会議③ 【真鶴港】関係者協議② 【真鶴駅】関係者協議③ パブリックコメント説明会 パブリックコメント（1/25から2/14）
2月	庁内調整会議④
3月	町役場若手職員ワーキング③ ランドデザイン完成 ～ 公表

関係者協議

各地区の各種協議体などの関係者、団体からご意見をいただきました。



若手職員ワーキング

町役場に勤務する若手職員が、グループワークで意見を出し合いました。



∞ グランドデザイン策定の目的

まちづくりについての意見

各種会議等での意見交換の結果、真鶴町の将来のまちづくりに関して伺ったご意見は大きく以下の2つに分類されました。

○現状を維持したまちづくり

現状を大きく変えずに、守り育ててきた真鶴らしい自然や風景を、今後も引き継いでいくことが大切であるという認識。「真鶴町民憲章」や「幸せをつくる真鶴時間」も、この方向。

調和

現状の不便な生活を改め、自然環境の保全よりも**利便性のみを追求した**まちづくりを望む考え。多くの若い世代から出された意見。

○現状を大きく変えるまちづくり

グランドデザインの目的

真鶴町グランドデザインは、人口が減少し、将来の存続が危ぶまれる真鶴町が今後も自立していくための構想となるものであり、それは喫緊の課題である過疎対策にもほかなりません。そのため、真鶴町グランドデザイン策定の目的を「**自立**」と「**過疎対策**」の2点としました。

現状を維持したまちづくりを進め、**真鶴らしい自然や風景を、今後も引き継いでいくだけでは自立や過疎対策にはつながりません。**

一方で、現状を大きく変えるまちづくりを進め、現状の不便な生活を改め、**利便性のみを追求したまちづくりをすれば、真鶴らしさは失われます。**

これらを踏まえたうえで、真鶴町グランドデザインの方針を検討しました。

∞ 未来のために持つべき視点

時代の流れ

真鶴町ランドデザインの取り組みは**短期・中期・長期の視点を持つ**ものとしませんが、100年先はもちろんのこと、10年先の世の中を予測することも非常に困難です。しかし、現在国内で起きている事象から、真鶴町の人びとの生活も大きく変わっていくことが予想できます。真鶴町ランドデザインでは、**時代の流れも考慮**し、そうした**少し先の未来にある暮らしやすさ**も視点として持つものとしします。

国内で現在起きている事象

- 訪日外国人の増加
- 多様な働き方
- キャッシュレス（アリペイ等）
- AI・IoT等第4次産業革命
- 3Dプリンタ
- 電気(水素)自動車・自動運転
- 英語の共通語化
- UAV（ドローン）・VR・AR
- ビッグデータ・オープンデータの活用
- シェアリング・エコノミー



未来は・・・？

- 買物はネットですべて完結
- 公共交通機関も自動運転
- 会社に行かなくても仕事ができる
- データの重要性が高まる
- 外出が減り人との接触が減る
- 健康寿命が短くなる



∞ グランドデザインに必要な視点

SDGs (Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標))

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、**地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)** ことを誓っています。

真鶴町グランドデザインは、SDGsが目指す経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組もうとする姿勢と志を同じくするものであり、SDGsの視点も持ち合わせるものとします。



∞ グランドデザインの方針

各種会議等での意見交換や真鶴町グランドデザイン策定の目的を踏まえ、真鶴町グランドデザインの方針を以下のように設定しました。

『100年経ってもにぎわいのある真鶴町』

また、この方針を達成するための4つの柱を以下のようにたてました。これまで大事にしてきた、町民が安心して暮らせるまちづくりを進めることや、培ってきた真鶴らしさを磨き続けることを前提としつつも、今、町が直面している課題に対応していくために、人口対策・産業振興・観光振興・生活利便性の向上を4つの柱として推進することで、真鶴町が**100年経ってもにぎわいのある町**であり続け、自立し続けることを目指します。

人口対策

柱1

人口減少にストップをかけ、活力を維持するまち

産業振興

柱2

産業が活発になり、働く場所、働き手も増えることでにぎわうまち

観光振興

柱3

観光資源をより魅力的なものにし、また来たいと思わせるまち

生活利便性の向上

柱4

暮らしやすくすることで、選ばれるまち

∞ 真鶴町のポリシー

4つの柱を推進することで、真鶴町ランドデザインの目的である自立と過疎対策を実現するものとしますが、一方で、**今まで大切に守ってきた真鶴の自然や風景を後世に残す**ことも重要です。これまで守ってきた「真鶴らしさ」が失われないようにする必要があります。真鶴町は、100年先の時代においても、真鶴町の暮らしを表現するランドコンセプト「**幸せをつくる真鶴時間**」の考え方を取り入れながら、次のポリシーを継続します。

自然環境の保全

- 「ひかり輝く相模の海にのぞみ、緑豊かな美しい真鶴半島は、町民の心のふるさとである。先人からうけついでこの歴史ある町を愛し、誇りとして、いつまでも心ふれあう住みよい町にする」、これは真鶴町民憲章から抜粋したものです。
- 100年後も現状に近い自然環境が残っているとすれば、それは全国でも貴重な存在となり、真鶴町の価値を高めるものとなる**のではないのでしょうか。
- 真鶴で保全すべき自然は、海とお林です。**保全とは、保護と活用の両輪**であるといえます。

○真鶴町民憲章 昭和56年9月30日告示第18号

ひかり輝く相模の海にのぞみ、緑豊かな美しい真鶴半島は、町民の心のふるさとです。

私たちは、先人からうけついでこの歴史ある町を愛し、誇りとして、いつまでも心ふれあう住みよい町にするため、ここに町民憲章を定めます。

- 1 自然と環境を大切にし、次の世代に伝えましょう。
- 1 健康な心と体をきたえ、仕事に誇りと責任をもちましょう。
- 1 お互いに仲良くし、思いやりの心を育てましょう。
- 1 きまりや約束を守り、平和な明るい町にしましょう。
- 1 教養を高め、文化の香り豊かな町にしましょう。

美の基準の継承

- 守り続けてきた美の基準は多くの町民の誇りであり、今後も踏襲することで、**真鶴らしさを残して**いきます。
- 海と山に囲まれたコンパクトなまちだからこそそのロケーションに惹かれる、という声を真鶴町に移住してきた人からも伺いました。
- まちづくり条例は時代に合った形での見直しも視野**に入れ、大切な景観を守ります。



美の基準

1. 私たちは、**場所**を尊重することによりその歴史、文化、風土を町や建築の各部分に**格づけ**し、それら各部の**尺度**のつながりを持って青い海、輝く森、といった自然、美しい建物の部分の共演による**調和**の創造を図る。それらは真鶴町の大地、生活が生み出す**材料**に育まれ**装飾と芸術**といった、人々に深い慈愛や楽しみをもたらす真鶴町独自の質をもつものたちに支えられ町共通の誇りとして**コミュニティ**を守り育てるための権利、義務、自由を息づかせるこれらの全体は真鶴町の人々、町並み、自然の美しい**眺め**に抱擁されるであろう。

∞グランドデザインを推進するうえでの課題

真鶴町グランドデザインの方針である「100年経ってもにぎわいのある真鶴町」を目指し、人口対策、産業振興、観光振興、生活利便性の向上の4つの柱を進めるにはさまざまな課題があり、それらを踏まえたうえで取り組みを検討します。

課題

- 行ったことがない、見たことがないところには住まない
- 生活するための収入が得られることが条件
- 楽しい思い出や成功体験があるとよい
- 安全でストレスがない環境
- 誇りや愛着は強み
- 企業進出・流出防止には企業側のメリットが必要
- 最低限、情報通信基盤の整備が必要
- 戦力となる生産年齢人口が必要
- 多言語対応できる人材は重宝される
- 起業支援、税金控除等バックアップ体制が必要
- 真鶴で出産・育児・教育するメリットが必要
- 介護のケアマネジャーのように子ども一人ひとりを支援する体制に
- 隣近所、地域といった人と人の関わりが必要
- 英語教育の充実は評価される
- 社会性、英語力等で結果を出し、口コミで広がる
- 真鶴町に住むには住民側のメリットが必要
- デメリットといかに向き合うか
- 小回りが利き、住民一人ひとりの顔がわかるのは大きなメリット
- 寄付を含む自主財源の確保と、企業や近隣市町との連携

推進の課題

想定される取り組み

- 真鶴を知る・行く・見る・聞く・嗅ぐ・食べる・体験する（五感）
- 働く場を確保する（新産業創出や企業誘致など）
- 楽しい思い出や成功体験をつくる（旅行・遠足・研修・イベント・グルメ）
- 防犯・防災・交通安全や、森林浴や森林セラピー、心の支援
- 誇りや愛着の醸成
- 企業にとってのメリットをつくる
- 情報通信基盤を整備する（町内全域無料wi-fi）
- 生産年齢人口を増やす（U I J ターン）
- 多言語対応人材の育成（特に英語力強化）
- 起業支援、税金控除等バックアップ体制づくり
- 出産・育児支援・教育支援（学習塾等）の充実
- 子ども版ケアマネジャーを配置し、子ども一人ひとりを支援
- 隣近所、地域といった人と人の関わりを重視する取り組みを推進
- 英語教育の充実など教育の魅力化計画を具現化
- 社会性、英語力等、真鶴の子どもはすごいという結果を出しPR
- 真鶴町に住むメリットを増やしPRする
- デメリットの解決は技術革新に任せ、メリットを伸ばす
- 小回りが利き住民の顔がわかる良さを活かす（対話等）
- 自主財源の確保策の検討と、企業や近隣市町との連携強化

どうしたらいい？

∞ 長期的な将来イメージ

真鶴町ランドデザインを推進し、100年後もにぎわいのある町であるために取り組みを展開したらどのようなまちになるか、**長期的な将来イメージ**を描きます。

人づくり/人口対策

- 出産・育児で困ることはなく、子どもたちが公園や海辺を駆け回っている
- ケアマネジャーが子ども一人ひとりを支援し、豊かな人間性が育まれている
- 隣近所、地域の人との日常的な交流がみられ、笑顔があふれている
- 真鶴の子どもは町と人とのかかわりを大切に町に誇りを持っている
- 真鶴の子どもはいろいろな人と共生し英語等も意欲的に学び世界に目を向けている
- 住民に誇りや愛着といった感情が一層定着し、定住率が高まっている

観光・体験・PR/観光振興

- 都会ではほとんど失われてしまった自然が貴重な観光資源となり、五感で感じることを楽しむ観光客で賑わっている
- 旅行・遠足・研修などでの来訪者が増え、様々なイベントが開催されている
- 心を癒しにくる人が増え、カウンセリングできる機関や人材も整っている

長期的な将来イメージ

自然や風景は現状のままで…

- 防災対策の進んだ安全安心なまち
- 真鶴は選ばれるまちになっている
- 若者をひきつける魅力のあるまち
- ずっと住み続けたいまち
- 新しいお店や企業が開業している
- 来訪者が増えイベントも続々開催している
- 真鶴特有の歴史・伝統・文化が継承されている
- 真鶴の教育は少人数だが魅力がある
- 自宅で仕事ができる

行政経営

- 住民、企業、議会、行政の連携が緊密で、共助の取り組みが増えている
- 小回りが利き住民の顔がわかる良さを活かす（対話等）
- 誇りや愛着のある住民ばかりで、町民が全員名刺を持ち、真鶴をPRしている
- 寄付を含む自主財源の確保が進み、企業や近隣市町との連携も進んでいる

基盤整備/生活利便性の向上

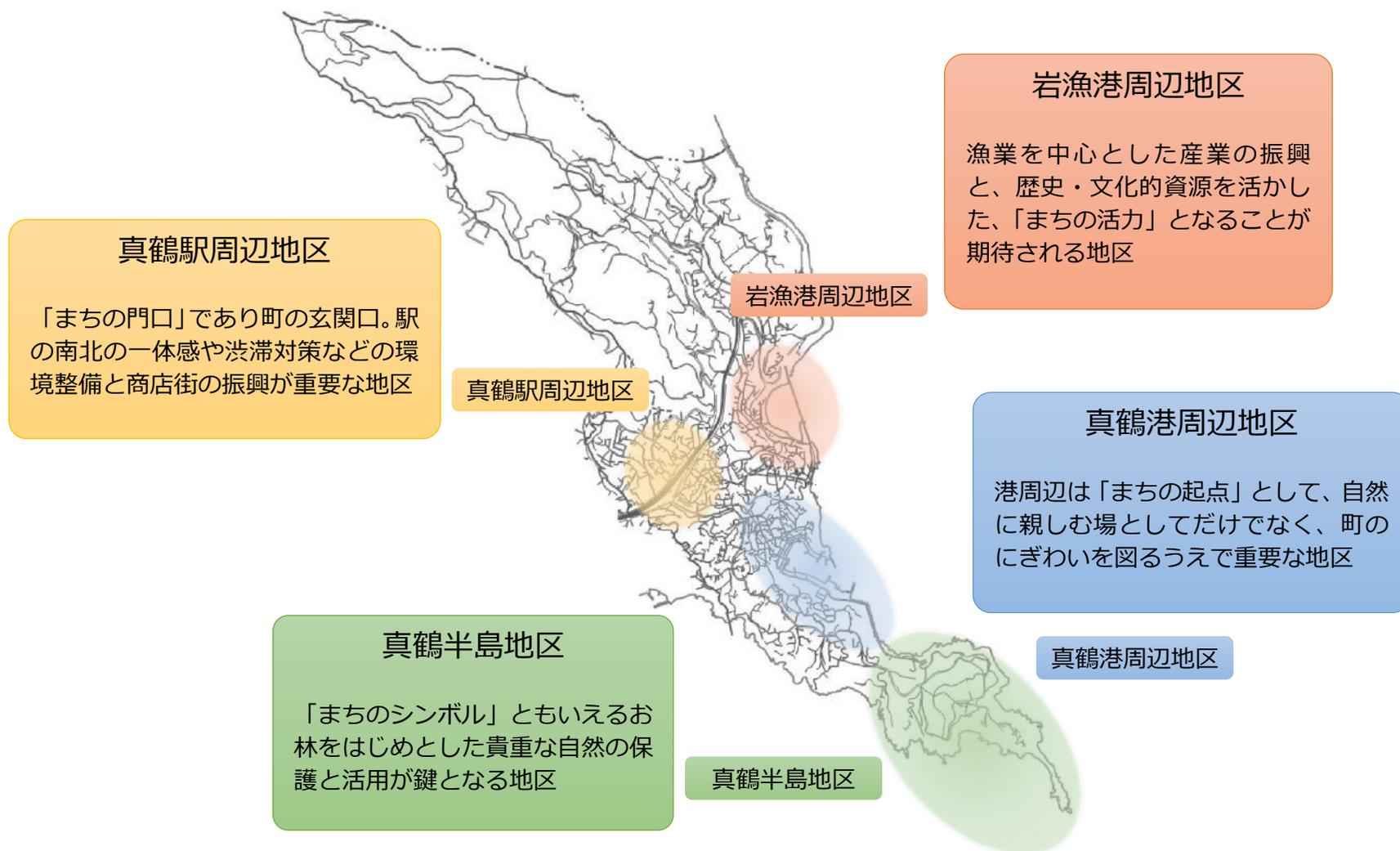
- 津波対策、豪雨対策、地震対策などが進み、交通事故もなくなっている
- 町内全域で無料 wi-fi が整備され、企業は高速通信網を利用している
- 自宅にいながら仕事ができる環境が整い、移住者が増えている
- お年寄りには地域への社会参加が活発で要介護状態になりにくく、医療の相談がかかりつけ医にいつでもできる

産業/産業振興

- 開業時だけでなく、後の経営もバックアップする日本一の起業支援体制がある
- 移住開業者には、税金控除等の嬉しい特典があり、続々と起業している
- 地元産業が活性化し、自分に合った職業を選択できている
- UIJターンの全国トップレベルで、生産年齢人口が増えている

∞ グランドデザイン 主要地区の設定

人口対策、産業振興、観光振興、生活利便性の向上の4つの柱を展開するための拠点として以下の4地区を選定し、それぞれの地区グランドデザインを策定します。



各地区グランドデザイン



地区のコンセプト

地区のポテンシャルを活かして観光・交流人口を増大させ、「まちの活力」として、かつてのにぎわいを取り戻すような地域の活性化を図る

地区の方向性（めざす姿）

∞ 漁業のさらなる振興

- ✓ 岩ガキの養殖などを進め、地区の主力産業である漁業が再生・発展している
- ✓ 網干場などの漁業施設が整備され、漁業の振興が図られていることで、漁業を営む若い人も増えている

∞ にぎわいの創出

- ✓ 地域の歴史・文化を含めた観光資源が創出され、町内外から人が訪れている
- ✓ 日常の不便などが解消され、住環境が向上しており、地域への移住者も増えている

取り組みの方向性

4つの柱

- ◎主たる柱
- 従たる柱

時期

- 短期…概ね5年以内
- 中期…概ね10年以内
- 長期…それ以降

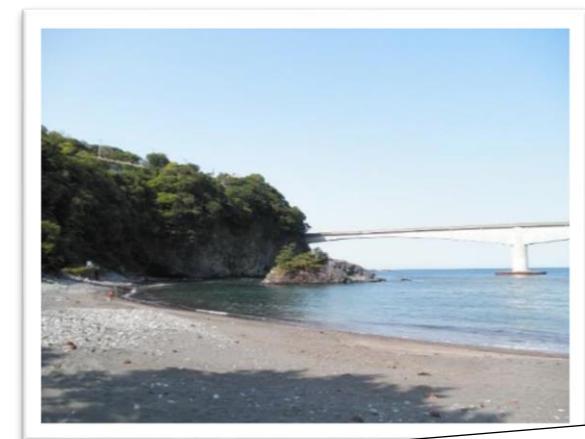
取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞自然豊かな環境を売りにした、移住の促進	◎				中期
☞空家を有効活用した、地域への移住の促進	◎				中期
☞漁業を希望する若者への指導による担い手不足の解消	○	◎			短期
☞町の主要産業となるよう岩ガキの養殖を促進		◎			短期
☞漁港で取れた海産物を食べることでできる場所を整備し、海産物のPRに活用		◎	○		中期
☞駐車場やヘリポートをつくり、活用		◎			長期
☞町の特産物である小松石を活かしたまちなみの形成		◎	○		中期
☞漁港施設の整備による漁業の振興		◎			短期
☞防災・観光・産業分野での他港との連携		○	○	○	中期
☞美しい古民家を活かしたカフェなどの整備			◎	○	中期

短期事業の概算事業費

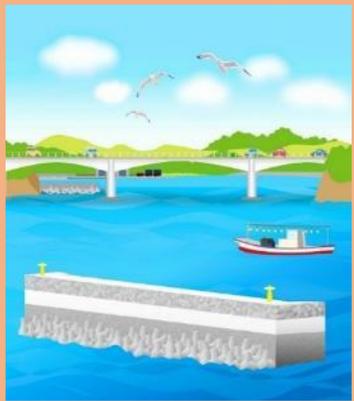
取り組み	人口 対策	産業 振興	観光 振興	生活利便 性の向上	時期
☞源頼朝に関する歴史的資源や伝統文化の保護と活用		○	◎		短期
☞真鶴を愛する方々を活用したりピーター客の増加			◎		中期
☞岩地区の歴史・文化・産業をたどることができる探訪ツアーなどを整備			◎		中期
☞海辺という環境を活かした、若い人も1年を通して楽しめるようなアクティビティの整備			◎		中期
☞沖防波堤建設により、漁業と防災の面の環境向上		○		◎	長期
☞地域住民が安心して暮らせる観光マナーとルール啓発			○	◎	中期
☞子どもが安全に遊べて、大人が見守ることのできるような環境や親水公園などの施設の整備	○			◎	中期
☞岩ふれあい館の整備と有効活用の検討		○	○	◎	中期

単位：千円

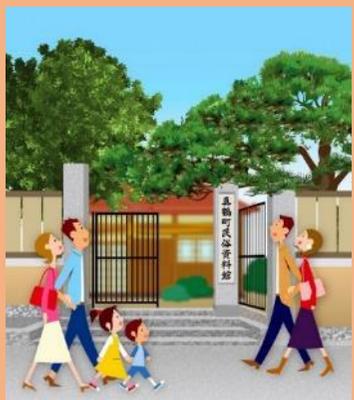
取り組み	概算事業費
漁業を希望する若者への指導による担い手不足の解消	8,000
町の主要産業となるよう岩ガキの養殖を促進	180,000
漁港施設の整備による漁業の振興	67,000
源頼朝に関する歴史的資源や伝統文化の保護と活用	3,500



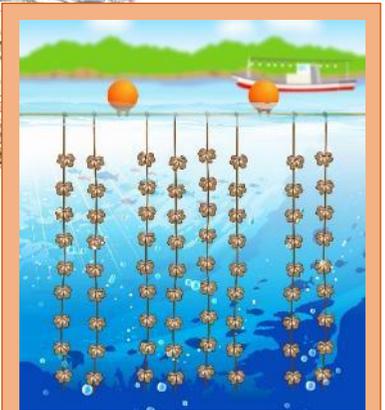
頼朝船出の浜と弁天島



沖防波堤を設置して、
町の安全を守る



民俗資料館を観光ルートの一
部、休憩拠点として活用する



カキ養殖場をつくり、
町の産業を活性化する

出典：平成28年度 漁業所得倍増対策基礎調査業務委託事業 業務報告書

∞ 真鶴半島地区 ∞∞

まちのシンボル

地区のコンセプト

真鶴の「まちのシンボル」として、お林などの貴重な地域資源を守りつつ、真鶴らしさを味わえるような活用を図る

地区の方向性（めざす姿）

∞ お林をはじめとした自然、歴史、文化の保全

- ✓ 美しい海やお林の保護と活用が両立され、まちのシンボルとして町民や来訪者から親しまれている
- ✓ お林をはじめとした自然の中での教育が町内外に浸透し、特色ある子育て環境が生まれている

∞ 観光、滞留拠点の整備による地域の魅力向上

- ✓ 半島の自然を活かした観光が確立され、「真鶴ファン」を生み出している
- ✓ 半島で安全に移動ができ、観光や自然の案内がわかりやすくなっている

取り組みの方向性

4つの柱

- ◎主たる柱
- 従たる柱

時期

- 短期…概ね5年以内
- 中期…概ね10年以内
- 長期…それ以降

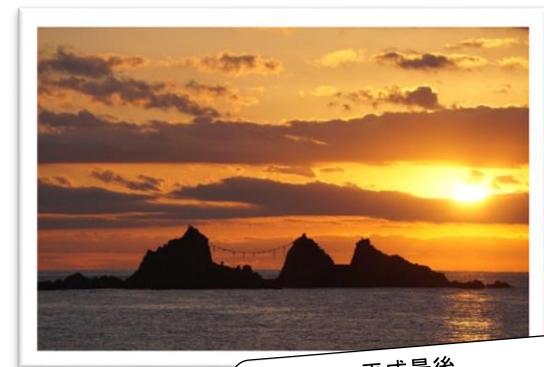
取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞貴重な自然を活用した環境教育、海洋教育の推進	◎				短期
☞半島地区内で子どもが安心して遊べるような遊歩道や公園等の整備の推進	◎				中期
☞寿命を迎えるマツの有効活用（伐採・ブランディング・PRなど）の検討		◎			中期
☞お林の保全及び半島特有の動植物の保護育成		◎	○		短期
☞お林や海岸に関するルール策定と周知		◎	○		短期
☞ARなどのICT技術を活用した半島地区全体を博物館のように楽しめる仕組みづくり			◎		中期
☞ツリーハウスなどの自然とふれあいながら楽しめるアトラクションの創出			◎		中期
☞半島内を散策する際に休憩、足を止めることのできる場所の整備			◎		中期
☞亀ヶ崎、水族館跡地へのアクセス環境の整備			◎		中期

取り組み	人口 対策	産業 振興	観光 振興	生活利便 性の向上	時期
☞ 宿泊施設等の整備による観光客が滞留する環境整備の推進			◎		中期
☞ 番場浦駐車場の有効活用（キャンプ場としての活用等）			◎		中期
☞ 大浜、高浦、番場浦などの半島周辺の遊歩道の整備			◎		中期
☞ 半島地区内における案内板等の整備や案内方法の工夫			◎		短期
☞ 花を活かした半島の整備、推進			◎		短期
☞ 自然環境を守りつつ交通利便性を高めるため電気自動車やセグウェイでのパークアンドライドの推進			◎	○	長期
☞ 魚座から半島地区を結ぶアクセス環境の整備（県道739号線の改良促進）[県事業]			◎	○	長期

短期事業の概算事業費

単位：千円

取り組み	概算事業費
貴重な自然を活用した環境教育、海洋教育の推進	10,000
お林の保全及び半島特有の動植物の保護育成	80,000
お林や海岸に関するルールの策定と周知	2,000
半島地区内における案内板等の整備や案内方法の工夫	5,000
花を活かした半島の整備、推進	5,000



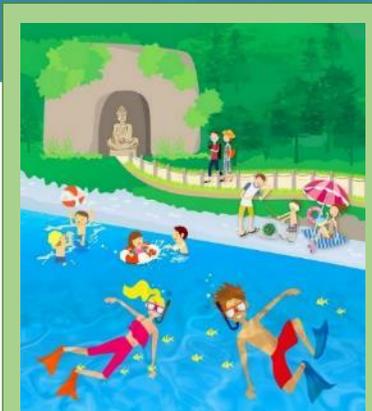
平成最後
三ツ石からの初日の出



半島内の自然を活かしたアトラクションを生み出す



真鶴半島を歩きやすく、歩いて楽しい場所にする



水族館跡地を海辺で楽しく遊べるように活用する

∞ 真鶴港周辺地区 ∞∞

まちの起点

地区のコンセプト

産業、防災面の拠点としての機能を維持しつつ、「まちの起点」として、貴船まつりなどの歴史的文化や磯料理などの食文化を通して、にぎわいの創出を図る

地区の方向性（めざす姿）

∞ ソフト面の施策による真鶴港周辺の魅力向上

- ✓ 観光・体験活動が盛んに行われ、様々なイベントが年中楽しめ、貴船まつりの季節には世界中から多くの人が集まる
- ✓ 港周辺で子どもが安心して遊ぶことのできるような仕掛けがあり、海に親しめる場となっている

∞ 公共施設等の再活用等によるにぎわい創出

- ✓ 港周辺の公共施設が再活用され、地域活動に加え、起業をしようとする人も増えている
- ✓ 公共施設や空地・空家の活用により、観光客の受け入れ態勢が整っている

取り組みの方向性

4つの柱

- ◎主たる柱
- 従たる柱

時期

- 短期…概ね5年以内
- 中期…概ね10年以内
- 長期…それ以降

取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞起業支援や創作拠点整備による新たな人の流れの創出	◎	○			中期
☞地元産業（漁業と石材業）の活性化と担い手の育成	◎	○			中期
☞ニーズや用途を捉え、周辺にある町施設を地域交流や新たな産業の創出拠点として再整備	◎	◎			長期
☞鮮度よく保つ最新型の冷凍設備の整備と魚市場の拡充		◎			中期
☞水産業の振興のための施設として、魚座の活用		◎	○		短期
☞地元産業の活性化と観光振興に活かせる複合施設の整備と宿泊施設不足の解消		◎	◎		中期
☞真鶴港を起点として、観光客も地元の人も町全体を循環できる仕組みづくり		◎	◎	○	長期
☞防災・観光・産業分野での他港との連携		○	○	○	中期
☞全国・世界からより多くの観光客を集客するためにイベントの周知・宣伝			◎		短期
☞海上保安庁巡視艇体験乗船やヨット体験乗船、漁業体験をはじめとする体験型のイベントの充実			◎		中期

短期事業の概算事業費

取り組み	人口 対策	産業 振興	観光 振興	生活利便 性の向上	時期
☞地元でとれる新鮮な魚を安く食べられる“食”による集客力の向上		○	◎		中期
☞100人規模が入れる飲食施設と大型バスも停められる駐車場の整備		○	◎		中期
☞貴船まつり等伝統文化の伝承と保護活用		○	◎		短期
☞自然海岸や沖（海上）を活用し、多様な釣り方が楽しめる釣り場の整備			◎		中期
☞子どもが安全に遊べ、誰もが気軽に利用でき、憩える親水公園の整備				◎	中期
☞整備された公園や歩行空間で、年間を通じて、観光客と地元の人が交流できる様々なイベントの実施			◎	◎	中期
☞上から見下ろす港の景色、船から見渡すまちなみの景観など、美の基準を生かした真鶴港周辺の景観の保持				◎	長期
☞琴が浜と半島地区を結ぶアクセス環境の整備（県道739号線の改良促進）			○	◎	長期
☞避難港及び災害時の緊急物資受入拠点としての防災機能の強化				◎	長期

(単位：千円)

取り組み	概算事業費
水産業の振興のための施設として、魚座の活用	20,000
全国・世界からより多くの観光客を集客するためにイベントの周知・宣伝	14,000
貴船まつり等伝統文化の伝承と保護活用	30,000



絢爛豪華な小早船



真鶴港活性化整備計画イメージパース

出典：「かながわの港湾」



魚市場がにぎわっている



子どもが親水公園で遊んでいる

∞ 真鶴駅周辺地区 ∞∞

まちの門口

地区のコンセプト

「まちの門口」として、安全性、利便性、快適性の向上と町の玄関口にふさわしい整備を図る

地区の方向性（めざす姿）

∞ 美の基準を活かした昔ながらの良さを活かす

- ✓ 美の基準に沿った景観が人々の心をつかみ、町の中へ行ってみたいくなる玄関口となっている

∞ ロータリーの再整備による人の流入の誘導

- ✓ 公共交通と送迎車輛、観光車輛の共生が実現している

∞ 安全で快適に移動でき、にぎわいのある駅前

- ✓ 駅前交差点周辺における移動の安全性と利便性が向上している
- ✓ 商店街には観光客も地元の人も買物に訪れ、笑顔で会話する姿があちらこちらで見られる

取り組みの方向性

4つの柱

- ◎主たる柱
- 従たる柱

時期

- 短期…概ね5年以内
- 中期…概ね10年以内
- 長期…それ以降

【駅・ロータリー】

取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞ 駅ロータリーの利用実態調査の結果や、公共交通の活性化や再生の考え方も取り入れた、利用ルールの変更				◎	短期
☞ 観光客も地元の人も、いつでも誰でも気軽に立ち寄り、ちょっと座って会話ができるスペースの整備			◎	○	中期
☞ 美の基準や安全性を考慮して大規模な地上の整備はなるべく行わず、駅前に地下街を整備するなどの地下の有効利用			◎	○	長期
☞ 乗降者の安全性の向上をめざして駅ホームの直線化に併せ周辺施設の整備				◎	長期
☞ 利用者の利便性の向上と駅北側を活性化するため改札口の橋上化				◎	長期

【駅前交差点・道路】

取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞ 道路の拡幅、右折レーンの設置、時差式信号の導入、地下道の整備など、あらゆる手段の検討による、駅前交差点の安全性の向上				◎	中期

【駅北・駐輪場】

取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞ 駅南北の往來の円滑化のための跨線橋南側へのエレベータの設置 [県事業]				◎	短期
☞ 安全な送迎を実現するための駅北側への送迎専用のスペースの整備				◎	長期
☞ 駅北側への商業施設の誘致や、公共施設の有効活用の検討	◎	○	○	○	長期
☞ 有事の際の避難救出活動の拠点となる、高台にある駅の北側へのヘリポートの設置				◎	長期

【商店街】

取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞ 駅前の空き店舗を活用しつつ、やる気のある起業家を誘致するための経営まで支援する日本一のバックアップ体制の構築	○	◎			中期
☞ 建物の建て替えにあわせて町の玄関口にふさわしい整備を要請するなどの、美の基準の具現化			◎		中期

【その他】

取り組み	人口対策	産業振興	観光振興	生活利便性の向上	時期
☞ 荒井城址公園までの行きやすさの改善、管理方法の工夫、遊具の整備など、地域の方々との協働による取り組み				◎	中期
☞ 駅周辺に新しい人の流れをつくり活性化を図るための道の駅等の誘致		○	○		長期
☞ 駅北側への移動をしやすくする南北を結ぶ道路・橋りょうの整備				○	長期
☞ 町の新名所としての「桜の見える公園」の整備			◎		中期

短期事業の概算事業費

(単位：千円)

取り組み	概算事業費
駅ロータリーの利用実態調査や、公共交通の活性化や再生の考え方も取り入れた、利用ルールの変更	3,000
駅南北の往來の円滑化のための跨線橋南側へのエレベータの設置 [県事業]	—



マナティ号と真鶴駅



駅前が観光客や町民の集いの場としてにぎわっている



移住してきた起業家が駅前商店街で開店する

∞グランドデザインのキャッチフレーズ

真鶴町グランドデザインを長期にわたり推進していくために、町全体で共有できるキャッチフレーズを考案しました。

都会にないものがいっぱい・ **す** **ご** **い** **ぞ** 真鶴 ~ わくわくが止まらないまち ~

す

・・・ **スロー&スマート ライフ**（仕事は効率的に、あとは真鶴時間を楽しむ）

ご

・・・ **互助がすごい**（地域ぐるみの子育て、お年寄りへの配慮、移住者もサポート）

い

・・・ **いつでも触れ合い**（住民同士の会話が長く、来訪者も仲良くなれる）

ぞ

・・・ **続々誕生**（駅前商店、ベンチャー、飲食店、名物料理、イベント）

資料

町役場若手職員ワーキング①	資料 - 1
【岩漁港】関係者協議①	資料 - 3
【真鶴駅】関係者協議①	資料 - 5
【真鶴半島】関係者協議①	資料 - 6
【真鶴港】関係者協議①	資料 - 7
住民との検討会①（町民との意見交換会）	資料 - 9
町役場若手職員ワーキング②	資料 - 10
【真鶴駅】関係者協議②	資料 - 12
【岩漁港】関係者協議②	資料 - 17
【真鶴港】関係者ヒアリング	資料 - 18
【真鶴半島】関係者協議②	資料 - 19
住民との検討会②（11/23）	資料 - 20
“（11/28）	資料 - 22
子育て世代との懇談会	資料 - 25
【真鶴港】関係者協議②	資料 - 28
【真鶴駅】関係者協議③	資料 - 29
町役場若手職員ワーキング③	資料 - 34

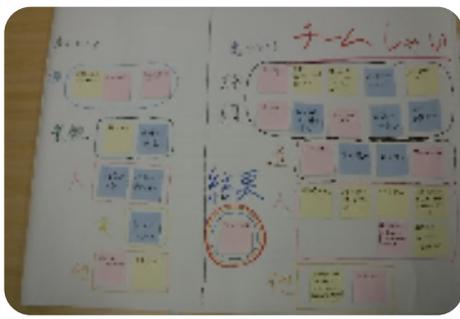


～ 真鶴町グランドデザイン ～ 職員ワーキング（第1回）を開催しました

真鶴町の良いところ、悪いところって何だろう。どんなまちになってほしい？

真鶴町の長所と短所を話し合い、魅力を再発見し、改めて真鶴町がどんな町か再認識し、未来について語ってみました。

真鶴町の
良いところ
悪いところ



どんなまちに
なってほしい？

第2回は →→→ 実際にグランドデザイン（夢）を考えてみよう。

真鶴駅周辺と真鶴半島を題材に実際にグランドデザインを考えてみましょう。実現可能性は一旦忘れ、夢を語ってください。

～ チームしゃい ～

	良いところ	悪いところ
海	<ul style="list-style-type: none"> 岩海岸は子連れには穴場らしい 海遊びが楽しい 子どもの交流事業はおもしろい 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が全て古い 遅くまでやっている店がない 服を貰う所なし。子育てしにくい 若い世代が少ない 大きな病院なし 大きな病院がない 水が高い 各施設古い印象を受ける 遊べる公園がない 公園が少ない
景観	<ul style="list-style-type: none"> 景色はきれい 風情ある町並 	
人	<ul style="list-style-type: none"> お年寄りが元気 人と人との繋がりが強い 	<ul style="list-style-type: none"> 土地が狭い 道が狭い 坂が多い 坂道・狭い道が多い
食	<ul style="list-style-type: none"> 魚がおいしい 	
他	<ul style="list-style-type: none"> 歴史ではそこそこ有名ならしい 災害が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客が少ない 地元民の個性が強く古い町のイメージ 人が少ない 地元人間が強すぎて、よそ者がなじみにくいイメージ 未来を先取った町(年寄りばかり、子ども減り続ける、転出者多い) 漁師町のイメージから抜けられない 条例が厳しいため、人や会社が入ってこれない(好きな家が建てられないなど) お金がない
	結果	
	・住みたいと思えない	

～ ワンダフル真鶴 ～

	良いところ	悪いところ
人	<ul style="list-style-type: none"> 魚が美味しい 魚がうまい 	<ul style="list-style-type: none"> 別荘が多い 働き口が少ない 町内で働くところがない 夜は人がいないので夜道が危険 店に入りにくい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 自然が楽しめる 海がある 自然(緑)が多い 海も山もある 動物がたくさん 景観が良い 地形が豊か 気候が安定 	<ul style="list-style-type: none"> 活気がない 人がいない 坂道が多くてつかれる 坂道が多いのでお年寄りは大変 ずっと住んでいると感じない不便さ→外から来ると思う事 医療面で不安になる 駅前渋滞 水道料金が高い 高齢化(ひとり世帯)
自然	<ul style="list-style-type: none"> 静か 交通アクセスが良い 観光スポットがある 観光協会も商工会もみんな頑張っている！SNSの発信力！ イベントでの集客人口はともある 	<ul style="list-style-type: none"> 教育 子どもたちが普段どこで遊んでいるか知らない 公園と呼べる場所がない あいさつをする小学生が少なく感じる 遊具が少ない

～ ザコ ～

	良いところ	悪いところ
Sea	<ul style="list-style-type: none"> 海がある(2) 魚がおいしい(2) 釣りをする人が来る 	<ul style="list-style-type: none"> 過疎 高齢者が多い イベントが多い
町の人	<ul style="list-style-type: none"> お年寄りが元気 人が明るい みんな元気 お年寄りの健康率の高さ。体力ありすぎ 子どもがスナオ 子どもへの支援体制がある ばーば、じーじ世話焼き(良い意味で) 人が寛容 町の人やさしめ 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係が狭い 狭すぎるコミュニティ(一度喧嘩したら終了節あり) 閉鎖的 ルーズ NO問題 人口が少ない 町民が町に対して自信がない 買い物に困る 物価が高すぎ。びっくり 買い物する場所。No問題 働く場所が少ない 子どもが少ない 観光地が少ない 若い人が少ない 公園がない 住むところが少ない
祭	<ul style="list-style-type: none"> おまつり楽しい 	<ul style="list-style-type: none"> 天 風が強い 台風とかは天候での影響をうけにくい(波はくる)
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 地元愛が強い 良い意味で人と人が近い 	<ul style="list-style-type: none"> まちなみ 町に高低差がある 夜暗い 通路が狭い 施設が古い・古すぎる 交通が不便 交通の便が悪い 駐車場がない
	真ん中	
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ゆったり アットホーム 	
まちなみ	<ul style="list-style-type: none"> 町並みがとてもおもしろい(坂多い、高低差がすごい) 道がとてもおもしろい(半島方面) まちなみきれい 坂が多い(階段も) 真鶴時間(良くも悪くも) 	

どんなまちになってほしい？

施設が整備されれば	施設	人
↓	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の整備(真鶴は歩道がない) 思い切って駅前にショッピングモール建設。駅直結 海の上に大規模なレストラン or カジノがあったらおもしろい 駅にエレベーター、隧道の拡張 男の遊び場、女の遊び場、子どもの遊び場 駅の周辺に観光できる場所をつくる(道の駅) 飲食店の増加(チェーン店) 雇用場所の整備→働き手移住 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢の人たちにやさしい町になるように 人口増加 子どもの増加
↓	結果	他市町村との連携
↓	住みたい町になる！	
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが大人になり、次の世代にも住みやすい町になるように 過疎地域ではなくなる 	

どんなまちになってほしい？

<ul style="list-style-type: none"> 町の知名度を上げたい 有名な町 全国区な町 	人と生きる
自然と生きる	<ul style="list-style-type: none"> アットホームな町になってほしい 働く場所がもっと増えるといい 素朴な町 物価が安い 遊ぶ場所がたくさんある 活気あふれる町 第2のふるさと 人がいる町にしたい 人と人が助け合う町 子どもが多いまち コミュニティの充実 高齢者が住みやすい 人と人とのよりそえる町 みんなが助け合う町 医療の充実

どんなまちになってほしい？

町の人	NO問題
<ul style="list-style-type: none"> 本当のオール真鶴 失敗を責めない 時代にあった町 町民が町のことを良く思える町 人が人に優しい町 若者が活躍できる町 背伸びしない無理しない 共助がすごいまち 	<ul style="list-style-type: none"> 高校がある 学校が新しくきれい 施設リニューアル 駅前がにぎやか 職場増 お店が増えてくれ 景色のいい町並みを活かした町 インスタ映えスポット増やしてほしい 観光の目玉がある 季節ごとでちがう人がくる 期待に応えられる
Child	まちなみ
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが多い 子どもがそのままスナオ 子どもに好きになってもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> 来やすいまち 平ら 免許の返納率の高い町 道路が広い
ブランド	コミュニティ
<ul style="list-style-type: none"> 真鶴をブランドとする町 金持ち 余裕 	<ul style="list-style-type: none"> 住民どうし適度な距離 メリハリ

真鶴町グランドデザイン

岩漁港周辺地区グランドデザイン策定のための意見交換会

日時：平成30年9月26日（水）18：00～19：30

場所：岩地区集会所

次 第

1 開会挨拶

事務局より挨拶。

2 真鶴町グランドデザインの概要について

事務局（企画調整課）より説明。

3 岩漁港周辺地区グランドデザインの概要について

事務局（産業観光課）より説明。

4 意見交換会のルール説明

サーベイリサーチセンターより説明。

5 意見交換会

2グループに分かれて、意見交換。

休憩

6 内容発表

グループ①

過疎解消等の方策

くらしやすさ

- ・家賃安くする
- ・クレカ、キャッシュレス
- ・流通

新産業

- ・海水から水素（エネルギー）をつくる
- ・温泉（エネルギー）
- ・養殖

漁業の振興

- ・岩の漁業を活発にするには？
- ・若い漁師のみなさんを増やすには？
- ・冷凍C A S
- ・岩漁協周辺の道路が悪い。小松石を使って見栄えのよいものに。
- ・牡蠣の養殖をしているのなら、食べさせる場所を造って。

高齢者の良さを活かす

- ・高齢者移住促進（都区との連携）。自然豊かな環境が売り。
- ・岩らしさを活かすには？一年配の方に活躍してもらう。

観光

- ・小学生の宿泊体験（海水浴）。J T Bとの連携。
- ・岩の民宿とか旅館にもっとお客を増やす。
- ・観光で生きるのか？
- ・観光資源がわかる表示。
- ・イベントの充実
- ・お金を落としてくれる歴史ツアー。徒歩5kmコース、徒歩7kmコース。
- ・岩の歴史探訪のツアーをくむ。

※海域面の使用の仕方

- ・住環境の確保必然。活性化は海域を中心。
- ・海水浴場の整備（下水道の整備）。
- ・真鶴港と岩漁港との調整。
- ・岩漁港をヨットハーバーに。
- ・海水浴場にお客さんが多く来るためにはどうしたらよいか？
- ・岩のつり客をもっと増やす。
- ・牡蠣の養殖を岩の人が多く参加できるように。

グループ②

漁協

- ・網干場にヘリポートをつくる。(今あるところを広げて)。
- ・網干場の駐車場利用 (漁業者に影響しない程度に)。
- ・陸の孤島になるので、緊急用の栈橋をつくる。漁師さんも使える。
- ・新しい防波堤は目障りだ！！

- ・漁業地域に親しみがない＝町民と一体感がない。
- ・漁業権があるので人が来ない。

岩海岸

- ・管理がしっかりしていればよい。
- ・カヤックなどの客が来すぎても困る。
- ・カヤックの客が多いので駐車場、洗い場、出船料をとり、漁協の収入にする。
- ・渡し船での沖釣り堀。
- ・ウォーターパークを造る。
- ・波が小さい海岸なので家族連れが安心できる海水浴場。
- ・弁天島を観光地にすれば人がくる。
- ・さざえやあわびを潮干狩りのように、遊びでできるように工夫する。
- ・夏場の施設だけでなく、遊びを年間通してできる仕掛けがほしい！

- ・浄化槽を整備 (生活用水が流れているので)。

- ・観光ルートをつくればよい (謡坂→如来寺跡→瀧門寺)
- ・観光資源としては乏しい (+α)。

その他

- ・お茶の飲める場所がない。
- ・街灯をオレンジ色にしてオシャレな街並みに。
- ・空家の有効利用。
- ・静かな場所のままで良い！！
- ・岩海岸の前の空地の利用を考えて！！買う or 借りる？

7 閉会挨拶

事務局より挨拶。

第1回真鶴駅周辺地区構想検討会議 委員意見

A 課題

【全体】

- ・現行の基本計画がベースになるのか？
- ・駅・人・まち・観光、すべてをつなげていくことが必要
- ・国道と線路により南北を分断された町であり、これをどう活かすかが課題
- ・不足する機能や課題の整理が必要
- ・駅周辺だけでなく他地区との連動も考える必要がある
- ・観光地まで人を動かす手段の検討が必要
- ・町民の望み、観光客の誘致、両立が必要
- ・湯河原と真鶴は観光地として一つである

【ランドデザイン】

- ・莫大な借金を抱えることはしたくない
- ・若者に借金を残したくない
- ・身の丈にあった取り組みをすればよいのではないか

【駅前交差点】

- ・駅前を通る車が増えた
- ・交差点が危険
- ・渋滞する
- ・歩くスペースがない
- ・他県から来る車には難しい交差点である
- ・歩行者が安全に通行できない
- ・今年に入り死者が2名、交通安全も大事である
- ・渋滞したほうが事故は少ないのではないか

【隧道】

- ・隧道が危険で暗い
- ・拡幅するなら周辺の民間の方々の理解が必要

【景観】

- ・駅前は素朴でよいが統一感がない

B 解決方策

- ・ベースではあるがあくまでたき台である

【ランドデザイン】

- ・住民投票で覚悟を聞くことも必要ではないか
- ・目的を持って整備したほうがよい

【駅前交差点】

- ・商工会・パチンコ屋等をやめてパーク・アンド・ライドを
- ・ロータリーは機能重視で
- ・歩行者信号をつけてほしい（時差式）

【駅】

- ・駅は通過点になっている
- ・派手な駅ビルは不要

【駅北】

- ・駅北側からの移動が大変
- ・社会福祉施設の機能とは？防災機能も考えたい
- ・中学校の改修も必要ではないか

【駐輪場】

- ・駅前駐輪場の再整備が必要
- ・動線が悪い・右へ出にくい

【商店街】

- ・シャッター通りになっている
- ・買物が不便で町の活性化につながっていない
- ・駅前の商店街を盛り上げることが必要
- ・おもてなしが足りない

【駅北】

- ・駅南北の行き来を（道路・橋梁）

【商店街】

- ・商店街に滞留機能を持たせる
- ・空き店舗の活用を
（常設型のサロン等高齢者のための整備も）

【真鶴らしさ（望ましい姿）】

- ・過剰な整備は不要
- ・人口7,000人のまちに相応しい整備を
- ・次世代の重荷にしないため維持管理も検討したい
- ・美のまちにふさわしいイメージ
（人を優先する機能、ゆったりとした時間の流れを感じる空間、実現性を考える）
- ・皆が知らないところを発見できるのが魅力
- ・キーワードは、過ごしたくなる、歩きたくなる、降りたくなる、乗りたくなる
- ・強みは、駅ホームから海が見えるところ、遮るものがない視界の広さ（駅を降りると残念）

真鶴町ランドデザイン策定業務 真鶴半島地区 関係者協議
亀ヶ崎等利用推進会議 会議意見要旨

日時 平成30年10月16日(火) 13:30～

場所 真鶴町国民健康保険診療所2階 会議室

1 亀ヶ崎等利用計画について

<資料1について事務局から説明>

- ・自然を残すという観点からモノレールはいかなものか。
- ・波が非常に高いため、ウッドデッキは維持できないのではないか。
- ・アクセスの整備や落石防止対策程度でいいのではないか。
- ・まずはこの場所をきれいにすることが大事ではないか。皆でゴミ拾いや除草をして町民に関与してもらえれば気運が高まるのではないか。
- ・アオウミガメが産卵できるようなきれいな海辺にすることは大事ではないか。
- ・この場所は波がとて高く、マリレジャーができるようにするには防波堤が必要になる。そうなるとこの辺りで一番良い漁場がつぶれてしまう。
- ・海辺をきれいにして、干潟を再生すれば貴重な、稀有な資源となるのではないか。
- ・落石防止ネットは景観を崩すのではないか。

2 真鶴半島ランドデザインについて

<資料2-1及び資料2-2について事務局から説明>

- ・防災の観点が非常に重要になる。
- ・木の上にボードをつなげて歩けるようにすれば、遊べるのではないか。
- ・ブロックアートの廃墟は資源として利用できるのではないか。
- ・ツリーハウスはいいと思う。アクティビティが真鶴町にはない。
- ・花を活かしたまちづくりをする。真鶴でしか育たないような植物を活かす(オリーブやヤシはその可能性があるのでは)。はまゆり(スカシユリ)が少なくなったが、活用できないか。
- ・県営駐車場から御林への階段(遊歩道)を整備してはどうか
- ・半島では火気厳禁の旨をもっと周知してほしい。
- ・半島への入り口をもっとどうにかしてほしい。

真鶴町港まちづくり協議会 総会

日時 平成 30 年 10 月 16 日 (火)
午後 1 時 30 分～14 時 35 分
場所 会議室

1 開会

- ・あいさつ (まちづくり課長)

2 会長あいさつ

- ・あいさつ (会長)

皆さんこんにちは。本日もお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。前回は 2 月 7 日に皆さんとお会いして、ほとんどのメンバーは変わらずに本日ご在籍いただいたという風に記憶に残っております。ただ今事務局からお話があったように、例年のお話以外に、ひとつ皆さんと一緒に話し合いをしたという内容もございますので、是非とも忌憚りの無いご意見を聞かせていただくようお願い申し上げます。そういう事でこれから始めるわけですが、一部分代わった方もいらっしゃいますので委員の自己紹介をしながらこの会議を進めていきたいと思っております。

- ・自己紹介 (出席者全員)

3 議題

- (1) 平成 29 年度事業報告について
 - ・事務局説明 (まちづくり課) 【資料 1】
- (2) 平成 29 年度収支決算について
 - ・事務局説明 (まちづくり課) 【資料 2】
- (3) 監査報告について
 - ・事務局説明 (まちづくり課)
- (4) 平成 30 年度事業計画 (案) について
 - ・事務局説明 (まちづくり課) 【資料 3】
- (5) 平成 30 年度収支予算 (案) について
 - ・事務局説明 (まちづくり課) 【資料 4】
- (6) 海のまち・豊漁豊作祭協賛事業について
 - ・事務局説明 (まちづくり課) 【資料 5】

県西土木：ヨット体験については、何艇ぐらいあるのか。

事務局：10 艇。その年によって違うが。

県西土木：第 5 船揚場は高さが 4 m ぐらい。どうやって乗せているのか。

事務局：乗せ方は鈴木組に協力してもらい、前日のよさこいで第 4 から乗船する。岸壁からではない。

観光協会：スタッフはどうなっているのか。

事務局：まちづくり課でやる。

会長：海上保安庁の巡視艇は、入るときに汽笛を鳴らしてもらいたい規定があるのか。

海上保安：入るときに法的な制限はない。1 回鳴らすと右に曲がる、2 回鳴らすと左、3 回鳴らすと後進。多いのが後進だが、入るときに合図はなく、視界不良時に警笛を鳴らす。それ以外は紛らわしい音は鳴らさない。イベントとして皆が分かっているのであれば船長に鳴らしてもらおうと伝える。可能であれば、出入港で鳴らしてもらおう。巡視艇の汽笛は大型船と違い甲高い音だが船長に伝える。

観光協会：カヤック・ボート・ウィンドサーフィン等を港から降ろせるのか。そこから乗って出ているのか問合せがある。琴ヶ浜でカヤックに乗ったり、ボートを持ち込んだりウィンドサーフィンをやっているお客さんがいる。それは駐車場があるのでそこで降ろして担いで行っているが、観光協会としては禁止をしていないが、本来はどうなのか。岩海岸からは砂浜なのでカヤックで出ているかというのがあるが、駐車場がないのでそれは無理と伝えているが、海岸からカヤック・ボート・ウィンドサーフィンというのは出られるのか。港なら出られるのか。水上バイクが休みになると結構入ってくるが港の航路とかは決まっているのか、マリーナからであればカヤック・ボート・ウィンドサーフィンで出られるのか。こら辺を教えていただくと案内できるのだが。

事務局：県条例等を確認してそれに基づいての判断になる。大きなヨットで第 5 岸壁を使いたいという場合はお断りしている。レジャー用のものについては条例等を確認する。水上バイクは、報告書等で状況把握をしている状況。水上バイクの問題は今後対応していかなくてはならない。

観光協会：岩海岸からはそういうものが出られるのか。駐車場がないから断っているが。

事務局：岩漁港は管理している所管課が分かっている。漁協との関係もあるので意見はこの場で受取り返事をさせてもらいたい。

(7) 真鶴港周辺ランドデザインの策定について

- ・事務局説明 (企画調整課) 【資料 6】
- ・事務局説明 (まちづくり課) 【資料 7】

県西土木：GD の策定は資料 6 にあるように、真鶴町が過疎地域に指定されてことから始まっているのか。

事務局：はい。

県西土木：過疎地域に指定されて国の方から交付金はもらえるのか。

事務局：過疎地域に指定されたことによって過疎債を活用できることはあるが、GD を策定したから何かを貰えるわけではない。

県西土木：あまり GD を作るメリットがないのでは。

事務局：メリットはないが、色々な事を手当たり次第にやるのではなく、方向性を決めていった方がいいのではという発想の中からできあがったもの。

県西土木：それは分かるが、GD 策定にあたって短期・中期・長期と言っているが、具体的に進めるにはお金が無いと何もできない。県は沖防波堤が出来上がったので内側を整備していく。

それに対する補完・活用としてソフト対策について町がついて来てくれるとありがたい。よりよい物を作り、それを媒体として活用してもらい活性化が図ればよいが、県は少なくともハード面を担当して、厳しい予算の中精一杯やって、10年以内（短期）で作り上げようという気持ちではいる。部分的には施設が出来上がっていくが、その時にソフトというか、町がどれだけついてきてくれるのか。GDは良いものを書いてあっても、それが活かされないといけないし、活かすためには予算的なバックアップがないとなかなか難しい。良いことがいくら書いてあっても、それを活かすために動かないと人は来ないし、過疎化は進むに決まっている。県と町の役割を分けてしまったらいい方向性にはいかないと思っている。過疎指定されたこととGDを策定することによって、国の方の施策からお金を持ってこられるところが無いのではなく、少し町も考えて。GDが絵に描いた餅にならないように。県に続いて、町のソフト対策も頑張ってもらいたい。

事務局：町も全てのジャンルに手を入れていかないといけない状況。全体のバランスを見て対応していきたい。

県西土木：過疎債を起こせるのか。

事務局：内容による。過疎自立促進事業の中に位置づけられている事業であることが大前提。

県西土木：整備する上で今手持ちのお金がかこれしかないが、5倍の事業ができるというやつ？昔の下水道整備と同じ？

事務局：そう。交付税措置がされるという事がある。

観光協会：岸壁と港の中の区分の違い。岸壁の立ち入っていい場所。鈴木組・漁協・港湾も立ち入っちゃだめ。第5岸壁のところは無料の駐車場を港湾事務所に人に開けてもらって使っているが、夜中のイカ釣りの人は本来入っていけないのか。港の海の中は泳いではいけないのか。西浜から東浜までボートの競争をしてはいけないのか。イベントをやるときに海上はどこまで使えるのか。今後対応するために教えてほしい。

事務局：これも県条例が港湾区域のところになると思うが、真鶴港の港湾区域は岸壁の施設方まで全部港湾区域。海の方は沖防波堤を結んだところから琴ヶ浜の海岸線を結んだところまでが港湾区域。その区域の中でできる、できないが分かれる。夜の釣り（イカ釣り）は、第5岸壁は釣りをしているとしている。夜については大きな船が停船していなければ禁止はしていない。

観光協会：港のGDはどこまで入っているのか。風外堂・昔の水道跡・鈴木組の裏山とか、どこまで入っているのか。

事務局：範囲は明確に分けてない。公共施設の管理者に今後の活用等の調査をかける。風外堂・琴ヶ浜駐車場も入っている。きっちりした線と言われると難しい。ある程度、真鶴港周辺と大きくみて考えている。

観光協会：上から港をみる景観、船から町を見る景観、景観の保持を含めたGDと考えてよいか。

事務局：そう。上から見た風景下から見た風景、どちらとも港からの風景と考えている。

観光協会：美の基準を基にやるということか。

事務局：はい。

観光協会：あいさつ運動や10年後の町の人づくりも含んだことをやっていくのか。

事務局：そこは港だけでなく、全体構想でうたっていかなくてはいけないところだと思っている。

事務局：補足すると、真鶴港に関係なく4地区でそういう事を話し合っていくが、視点が2つ分か

れる。1つめは観光客に向けてどう動くか。資料7でいうと短期的な取り組みが観光に特化している部分。もう1つは周辺住民に対する使いやすさや便利さ、景観を守っていく等そういう部分についての視点もある。それらを突き詰めていくと相反するときがある。観光客に対しては開発した方がいいし、町民に対しては開発せず残した方がいいなど。そういう物を分けて考えないとこんがらかるので、観光客・町民用と分けながら意見貰おうと思っている。港に限らず他の地区も同様。最終的には企画調整課でまとめていくので、そういった部分は議論していこうかなと思っている。

(8) その他

・県西土木事務所小田原土木センター説明

会長：新しい防波堤がなければ、台風の影響はもっとひどかったのか。

県西土木：効果はあった。しかし今回の台風は波が想定外のところから来たため被害あり。今後、再整備していく。

平成 30 年度 第 2 回「町民との意見交換会」

日時 平成 30 年 10 月 21 日

場所 町民センター 講堂

○町民から出た主な意見（第 1 部：真鶴町ランドデザイン策定に関して）

【全体】

- ・「自立した」まちとはどんなまちか
- ・人口を増やすのか、住民が潤い税収増を目指すのか、具体的な数字が必要ではないか

【岩漁港】

- ・夏合宿が盛んだった頃になるとよい。海水浴場としては魅力あると思う
- ・岩大橋に「名称」や「長さ」を記載して P R してほしい

【真鶴半島】

- ・大浜、高浦、番場浦など、半島周辺の小路を整備してほしい
- ・子どもは海は危ないと教えられ遊ぶ機会が意外と少ないので、各年代で海で遊べるようにして楽しい記憶が残るようにしてほしい
- ・ケープ真鶴まで行きにくい、休憩できる店（スペース）が少ない

【真鶴港】

- ・観光目的なら港をきれいにしてほしい（海底も含めて）
- ・防波堤の安全性を高めて観光客が入れるようにしてはどうか
- ・魚座の水槽を新しくしてほしい。真鶴らしさが出てくるのではないか
- ・熱海は海に公園があって海に向かって乗れるブランコがあるが、真鶴は海もお林も子どもが遊ぶところがない。公園もなく砂場もないので子どもが外で遊んでいる姿を見ない。子どもが遊ぶ仕掛けが必要ではないか
- ・なぶら市に魚屋がないので、他の漁協からでも入れてはどうか

【真鶴駅】

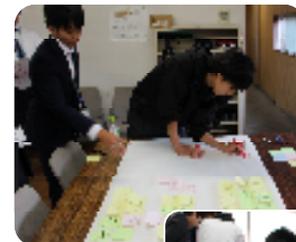
- ・ロータリーはタクシーが右回り、一般車両が左回りで危険なので同一方向にほしい
- ・駐輪場なども含めて総合的な整備が必要
- ・地元の人が買いたいと思えるような商店街の活性化も必要
- ・駅ホームからみた鶴の絵をもっときれいに
- ・福浦からの道路が通れば利便性は高まるのではないか

参考①【2部のテーマから抜粋】

- ・今ある公園（城址公園）はアクセスが悪い。歩いて行ける場所にも公園があるといい
- ・現状の高齢者向けの地域サロンをゆくゆくは全年代での地域交流の場にしていきたい（健康福祉課）

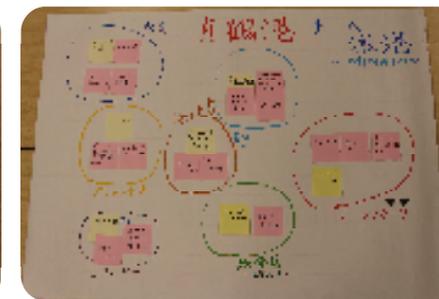
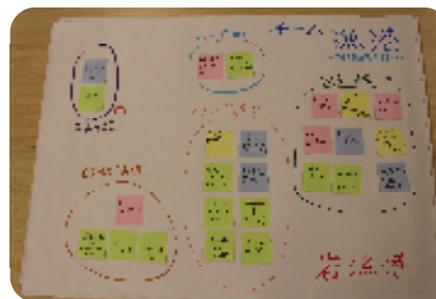
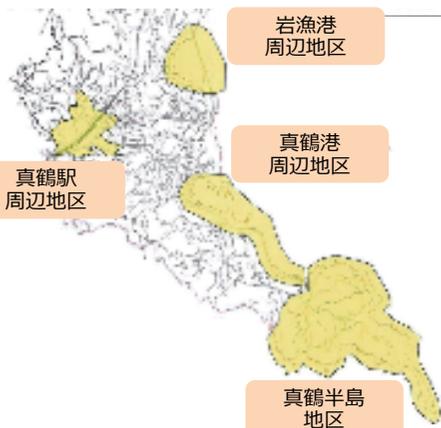
参考②【町長のお話し】

- ・伝統文化を継承することは大事、これからは町外の人も呼んでその人たちにも継承してほしいと考えている
- ・中 3 までに英検 3 級を取らせる教育を行う。外国人とのふれあいもしてもらいたい
- ・学校給食もやりたい（老人や災害時にも使えるように・無償で・県内で未実施は湯河原と真鶴のみ）
※子どもは弁当がいい、親は給食がいい、と半々らしい



～ 真鶴町グランドデザイン ～ 職員ワーキング（第2回）を開催しました

実際にグランドデザインを考えてみましょう
4地区をモデルにグランドデザインを語ってみました。



第3回は →→→ 職員としてできること、望むことを予定しています。

BLUE

半島 Peninsula

お林 break

- ・1本だけ大きい木を植えて公園に
- ・アウトレットパーク Manazuru
- ・海の見える式場（婚・葬）どちらでも
- ・お林の中に広場をつくる
- ・お林撤去。リゾートマンションの開発
- ・ホテル大型の
- ・フェス開催
- ・旅館ではなくきれいな施設
- ・Amazon 真鶴支店をつくって働く人をゆうちする等
- ・スケートパークを作る。プロックアートも
- ・映画のロケ地
- ・カジノ
- ・真鶴半島限定スイーツ
- ・水族館
- ・空港を作る。お林さよなら
- ・琴ヶ浜を有料 BBQ 場へ
- ・動物園の復活！
- ・お林の伐さい平地化

お林 save

- ・三ツ石で打上花火
- ・バイク利用者用の道路を開設
- ・半島レース（何でも）
- ・お林の途中でカフェを作る。休けい所
- ・道路を拡げる
- ・展望タワーを立てる
- ・三ツ石へエスカレーターを
- ・パークゴルフ場の増設
- ・釣りができるスポット
- ・森林イルミネーション
- ・三ツ石の神格化
- ・土日遊べる（子供と）アスレチックしせつなど
- ・お林をイルミネーション化して名物化させる。インスタばえ
- ・琴ヶ浜周辺に夏、海の家を作る
- ・ガケからバンジー
- ・お林の中にアトラクション

駅 Station

開所

- ・道を通りすぎる人にお金をもらう

観光

- ・地下街にブロックアート
- ・日帰り温泉（温泉は湯河原）など
- ・銅像を作る。源頼朝
- ・博物館を作る

JR にお願するやつ

- ・駅の立体化
- ・駅裏から真鶴駅に入る道をつくってほしい
- ・駅ウラと直結する道路。北口・南口
- ・駅ビル
- ・円型の立体歩道橋
- ・北口
- ・北口、南口
- ・駅前にショッピングモール直結

- ・商業施設ラスカ
- ・南北ともロータリー
- ・駅から商店街
- ・駅の地下化
- ・地下商業施設
- ・駅直結マンション
- ・駅から半島までを眺められるように
- ・駅から半島までモノレール

企業のやつ

- ・飲食店が欲しい（マクドナルドなど）
- ・コンビニが欲しい
- ・飲食店の増加。ファミレス等
- ・ボーリングや卓球などのスポーツができる施設（友人が真鶴町に集まって遊べるようなものが欲しい）
- ・魚やカキなど真鶴名物が食べられるような気軽に入れる店
- ・スタバ

まちづくり

- ・スポーツジム
- ・宿泊しせつ。ホテル等
- ・大きな病院
- ・たぐじ所等
- ・隧道拡幅
- ・北側に住宅地



真鶴駅

施設

- ・トイレを駅内に
- ・wifi
- ・ニューデイズの品をもう少し多くしてほしい
- ・駅前広場のバス停留所付近に鶴のオブジェを置く
- ・駅前待機場所をつくる。
- ・高架橋をきれいにする（ぬりなおし、補修）
- ・屋根を広げる
- ・商こう会ビル建てなおし
- ・トンネルの間に wifi
- ・ロータリー内の青空キッチン
- ・交通整備
- ・駅前ロータリーの木、鶴（魚？）の形に

交通

- ・駅から各方面へ路面電車
- ・駅から各方面へロープウェイ
- ・動く歩道（各方面へ）
- ・北側・南側つなげる
- ・車（国道）をアンダーパス化
- ・地下道を水槽のある水族館にする
- ・地下道をのぼして役場までつなげる
- ・地下街（まな地下）
- ・熱海～小田原をトーマスが走る
- ・空から、電車を見る
- ・駅→海、水の流れ（川？）で道案内
- ・トロッコを作る

観光

- ・セレクトショップを作る
- ・ご当地ポケモンを作る
- ・駅ビル
- ・立ち飲み屋
- ・駅金の網の看板を新しく作りなおす
- ・町のうたを作って流す
- ・川を活用したい。意見求ム
- ・ドでかい町案内図
- ・ゆるキャラ

岩漁港

住みやすさ

- ・買い物をしやすくするために旧貝博を買い物ができる店へ改修する
- ・ガタガタするのでコンクリを全てひきなす
- ・駐車場をふやす
- ・一度坂に全部手すりをつける
- ・行きにくいので海岸まで一本道をつくる（岩海岸）
- ・岩ふれを児童館としてリニューアルして子どもを集める
- ・砂浜をゴミ全て取って砂を新しくひく
- ・見た目が良いので岩地区の家に補助を出してくもの巢をせいにとる
- ・市場を作る。直売所
- ・コンビニを作る
- ・海水を青色に見えるようにする

交通

- ・真鶴半島と岩漁港を遊覧船で結ぶ
- ・三浦半島と岩漁港を結ぶ
- ・海外フェリーの停泊所として活用
- ・トロッコ
- ・半島からのアクセスをしやすくするために電動自転車をくばる

観光

- ・ポケモンGOで岩タイプのポケモン大集合させる
- ・道の細さをいかして全体で鬼ゴッコする
- ・あそびを作る
- ・夏のアトラクションを作る。ウォーターパーク？
- ・岩大橋バンジー（アクティビティ）
- ・弁天島からウォータースライダー
- ・岩地区の土産屋（道の駅？海？）
- ・岩の“岩のり”みたいな岩を全面に推してみる
- ・オーシャン風呂
- ・周辺を整備し大磯市並の朝市を作る
- ・魚座II。飲食店を増やす
- ・オシャレにする
- ・海の沖まで橋を作る
- ・潜れない人でも海中を見られる施設
- ・海中の通路をつくる
- ・漁業区域をへらす
- ・つりスポットにする

チーム漁港 ~MINATO~

岩漁港

エネルギー

- ・海水力発電
- ・砂湯

砂浜活用

- ・白い砂浜にする
- ・岩海岸で拾ったビーチグラスでトイレを装飾する
- ・サンドアート
- ・サンドスキー場づくり

ハード面

- ・初島へ通じる道路を海底に作る
- ・ふらっと行けるように無料駐車場

マリナクティビティ

- ・海遊び特化させる。体験系の施設へ（資格取得含む）
- ・子連れが安心して楽しめる海水浴場
- ・マリナクティビティができる港。サップ、水上ポート
- ・体験型観光
- ・岩大橋をカラフルにペイント
- ・岩大橋から砂浜までジップライン？アトラクション
- ・岩大橋にイルミネーション
- ・岩大橋からバンジージャンプ

飲食・産業

- ・飲食スペースを増やす
- ・全てを種類ごとの養殖エリアに。貝、魚、深海魚 etc
- ・沖に釣堀を作る
- ・海中に宿泊施設
- ・産業の活性化
- ・お魚センター的なやつ。釣る・獲る等したやつを売れる、焼ける、食べるみたいな
- ・旧岩小を産直に
- ・給食風のごはんが食べられる
- ・朝獲れの美味しい海の幸

真鶴港

防災

- ・防災対策バッチリ
- ・防波堤
- ・道路を高くあげる
- ・海がずっと見える道路

オシャレな港

- ・オシャレな港
- ・夜はいさり火ランプのような幻想的な雰囲気
- ・真鶴漁港をすべて白くする

エネルギー

- ・海水力発電
- ・海水をわかして温泉へ
- ・海が近い

船

- ・船上花火の定期開催
- ・湯河原・熱海の花火が見れる施設へ（資格取得含む）
- ・子連れが安心して楽しめる海水浴場
- ・マリナクティビティができる港。サップ、水上ポート
- ・体験型観光
- ・岩大橋をカラフルにペイント
- ・岩大橋から砂浜までジップライン？アトラクション
- ・岩大橋にイルミネーション
- ・岩大橋からバンジージャンプ

ヨット

- ・ヨット利用者等がまず思い浮かぶ港に
- ・料金が安い
- ・ヨットとめやすい

飲食店～地産地消～

- ・海上 or 海底レストラン的なやつ
- ・海上に飲食店

テーマパーク

- ・テーマパーク
- ・船のテーマパーク
- ・真鶴でとれる魚や貝の水族館をつくる
- ・船上カジノハウス

第2回真鶴駅周辺地区構想検討会議 議事録

日時：平成30年11月5日(水) 10:30~12:00

場所：真鶴町国民健康保険診療所 2階会議室

1 開会

みなさんこんにちは。

本日は公私ともにお忙しい中、第2回真鶴駅周辺地区構想検討会議に出席いただき誠にありがとうございます。

事前に配布させていただいた「第2回会議に向けた提案の依頼結果」両面刷りの2枚と「平成29年度真鶴駅周辺環境整備基本計画の概要版」を使わせていただきます。お持ちでない方につきましては、予備に用意してありますのでお申し出ください。それでは、第2回検討会次第の「2議題」から進行を会長にお任せいたしますのでよろしくお願いたします。

2 議題

(1) 真鶴駅周辺地区構想について

・会長：第2回会議に向けた提案の以来結果(P1)の3~9の中で意見をいただきたい。

委員：

- ・駅前広場は今のスペースを基本に、交通のコントロールを考えたほうがよい。
- ・駅前の135号が50km、60kmでスムーズに通れなければいけない、ということはない。幹線道路のところどころに集落があったとして、その集落の出入口はスピードコントロール。駅前は時速30kmぐらいで動けばよい。今は5差路でややこしいが、事故がないように技術的に検討してほしい。
- ・【5】の景観は、駅前も美の基準をもとにしてほしい。駅を降りたときにパッと見渡して真鶴いいなと思えるように建て替えなどを進めたらよい。直接的に観光客を呼ぶ物産館というよりは、駅前にインフォメーションセンターを。イギリスのある町へ行くときインフォメーションセンターがあり、その町の暮らしもわかる。これらを参考に今ある観光案内所をもっと広げて充実させる。

会長：資料の作り方について、【5】の景観はコンセプトに近いものなので、ここに並列であるのは違和感がある。コンセプトのところに、「美の基準に沿って新しく整備を行う際に、少しずつ配慮を行いながら実施する」と書かれるべき。「駅前施設」の項目を新たに作成して【11】とするように。

委員：

- ・駅前ロータリー活性化、信号や商店街がメインになる。駅を降りたとき寂しい。ランドデザインでは3階建ての建物を建てて、そこへ交番から駅舎から全部入れるという意見もあるが、そんなものやらないという意見もあり、通り一遍の議論ではなくよい傾向だと思ふ。どうしたら町民の生活が便利になるか。駅前にお店ができればそこから来た人はよいかもしれないが、駅前で商売されている方は売上が減る。住民第一で考えたほうがよい。
- ・観光客は素通りしないで、半島のほうに行ってお金を落とすようにしてければ町の活性化になる。
- ・【3】~【9】に書かれていることは、経済的に町の負担にならないように工夫してほしい。
- ・10年で約2,000人減少している。原因を追求することはないのか。転出者・転入者に理由を聞いてみてはどうか。

会長：全体的な話ではあったが、過剰な整備は不要。活性化したいのであれば人口減少の原因を調べてはどうかとご意見をいただいた。

委員：

- ・跨線橋のエレベータは片方しかない。両方作ってほしい。これ以上橋の上の駅などを作らなくても十分。
- ・駅北には住宅地が広がっていて、商店が一つもない。買い物難民になっている。坂もきつい。お年寄り郵便局のところの狭い隧道を通過して小田原百貨店に行きたくない。小さなお店でもあるとよい。
- ・公園にもトイレがないので、子どもも観光客にも不便。トイレがほしい。
- ・その程度で十分。住民たちだけの地区であるということをはっきりしたほうがよい。ケースABCDで大変なお金をかけるのであれば、もっと他にお金のかけようがあるのではないか。

会長：【4】隧道と【7】駅北はセットで考えましょうということ。駅北については片方にしかないエレベータがもう片方にもあれば十分である。買物は隧道を使っている。あとは可能であれば公園にトイレをつけると。

委員：

- ・観光協会として駅前に案内所を設けている。ロータリーに観光客が車を停めて観光案内所に寄るためのスペースがない。駅前駐輪場の利用者の7割近くが湯河原の人。電車が着いて出ていくのはすべて右側。よって、駅裏に迎えに来る人のスペースがあればよい。ロータリーの中に一般車は入らせない、観光客とタクシーとバスのみができる可能性がある。ただし、駐輪場を裏にあわせて持つと、人件費倒れで運営が赤字になる。駐輪場・バイクの駐輪場は1か所にまとめたほうがよい。駅の裏側の整備は、あくまで送迎車用の誘導としたらよい。駐車場は有効だが駐輪場は駅北に要らない。真鶴で駐輪場を利用しているのは、岩地区で雨の日を利用していただけ。

会長：p23、先ほどの方の意見はエレベータだけ、橋上施設は別として、今回の方の意見はこれに近いご意見だった。

委員：真鶴で箱ものを整備するのであれば、せっかく美の基準があるので、それを活かして真鶴らしさを出していったほうがよい。

会長：当たり前だし一番重要なことである。

委員：

- ・駅の南北を結び話が先ほどから出ているが、計画をみると橋上駅舎が書かれている。隧道も分断されている南北の地域を結びものとしてある。それに既存の跨線橋がある。本当に人の流れがどういふものなのか、どういふ人が行き来するのか。橋上駅舎化はお金がかかる。隧道も100億円を超える試算がある。地域にとって必要なものは、人が行き来するようなものが必要なのか、車も含めて行き来できるようなものが必要なのか、しっかりと議論して進めていくべき。人だけよいのであれば、今ある跨線橋だけでは足りなくて、橋上駅舎が必要なのか、という話もしていく必要がある。
- ・駅は町民だけではなく、観光客という可能性も含めて、町民が利用するための駅の形と、観光客を誘致していくための

町の玄関口としての駅の形をどうしていくのか、そういったものが駅前広場のあり方であるとか、バスを含めたネットワークの話になってくる。その辺を議論してある程度ビジョンができた上で、本当に必要なものを整備することが大事。

会 長：町民からも橋上駅舎は要らないのではないかとのご意見がある。現状ベースで必要なものをくっつけていく、エレベータとか、トイレとか。そのほうがよいのではないかとご意見と、あとは観光客の位置づけをどうするかという話であった。

委員：

・昨年策定された基本計画は、町の目線だけで作っていると感じる。これに町民の声が反映されていないと強く感じる。この会は次のまちづくりを協議する場なのに、基本構想のあり方の議論になってしまっていて、後退的な意見が多く感じられる。基本構想を作った目線と町民の現実ギャップが濃すぎる。
・現実的なまちづくりに何が必要なのか、必要なものを抽出した結果、こんなものができるといい、あんなものができるといい、というような。協議会の立ち上げ方にギャップを強く感じている。そこに創意工夫することによって、まちの将来像が町民の声をクローズアップして見えてくるのではないかと。昨年も市民のアンケートをもとに議論してしまっているところがあったり、たてつけという骨子の作り方というか、違和感を強く感じている。

会 長：皆さん思っていることはほとんど同じではないか。みんな身の丈でいいと思っているのに、何でこのような案ができているのかという素朴な疑問があるのかもしれない。事務局、来年度は何をするのか。

事務局：ランドデザインを策定するという命題があり、今年度末、できればもう1年かけてやりたいとは思っているが、スケジュール感としては2年間で検討会を開催する。

会 長：今いただいた意見のように足りないもの、どうしても必要なものをくっつけるという考え方で大丈夫か。

事務局：住民の方々からの視点が足りないというのは事務局としても感じている。

会 長：ニーズがないJ Rも対応できない。地元の声をしっかり汲み上げた上で対応いただいているところだと思う。そういう意味でもしっかり考えたい。

委員：

・観光客と住民、双方のニーズがあって、自家用車の乗り入れとか、駐輪場とか、町民や近隣市町の方が使われるものと、外から入ってこられる方が必要とするものがあるので、そこをどうやって整理をつけるかということだと思う。
・熱海はラスカができた。仲見世を筆頭に地元の商店街はどうなったかということや、人が集積することによって全体が活性化して効果が現れるのか。特に駅前を課題としているのであれば、真鶴はラスカのようなものがあつたほうがよいのか、考える必要があるのではないかと。
・公共交通については、駅前を結節点として、各地へ路線を出す。個別の送迎と公共交通は基本的には分離をされているべき。地元を活性化したいという想いは共通のものだと思う。地元の人々がどのように駅を使って利便性が向上し、交通の危険性が減少するかということと、駅周辺で商売をされていたり、活性化をもちたいという考え方、これについて

ては駅を整備するにあたって、地元の方とどのようにするのかということ、必要であれば同様のところを調査する。人がどう動くのか、調査したほうがよい。

会 長：住民向けと観光客向けに分けて表にしたほうがわかりやすい。次回の会議ではそのような整理の工夫を。熱海はフィルムコミッションやトップの動きもあり、もし同じようにやるならそれをカバーするソフト面も必要かなと思う。熱海は行政が相当頑張っている。真鶴がどこまで頑張れるかということもある。

委員：

・住民のためか観光客のためか難しいところはあるが、たたきのようなこまごまのものは要らないと思う。
・駅北から、お迎えには福浦のガードを通ってくるが、ガードの裏側の渋滞はほとんどない。駅前の渋滞をよいこととして捉えると資料にはあるが、真鶴半島に行く観光客で渋滞するということであればそれはよい。通勤の方で渋滞しているのであれば交通事業者もその渋滞に巻き込まれる。200 円の料金が無料になってからもすぐ渋滞する。経済的損失は大きい。したがって【3】駅前交差点、これは解消に向けて道路を広げてもらいたい。
・【6】ロータリーは何十年も前から送迎の車が多い。特に夜間。バスが入ってきてクラクションを鳴らさないと移動しない。いったん移動すると次に停める場所がなくなってしまうから。ピークの時は国道まで並ぶ。これを解消してもらいたい。そのスペースを作っていただく。ただし、それが駅の北側でよいのか。真鶴半島や岩方面の方は、福浦のガードを超えて行かなければならない。北は北、南は南で考える。ただし、交通事業者と交わらないように。今現在でも一般車両との接触事故が発生している。
・【9】商店街のことは町が仕切ってやれるのか。人通りが戻ってくるのかという非常に難しい課題。この会議だけではなく、観光に関しては観光に関する方々に、商売については商売の人たちが色々な意見を言える場を作って、その意見をまとめたほうがよい。真鶴は商売するには厳しいまち、【9】商店街は非常に大事。

会 長：観光客目線と、送迎、町民目線というか、そのあたりが一番難しい解決しなければいけない部分だと思う。送迎問題、我々も車で動けないことがあった。かなり問題だと思う。

委員：

・進め方としては、真鶴駅前に必ずあつたほうがよいものと、付加価値のようなあつたらいいねというもの、そのような整理をしながらまとめていったほうがよいのではないかと。
・湯河原は温泉のまちなので、湯けむりというコンセプトを決めて進めた経緯がある。あとは交通事業者などと協議をして進めた。

会 長：p 3はもう少しわかるように書いたほうがよい。湯河原は湯けむりということだったが、p 3だと真鶴はどこにあるのかわからない。

委員：

・昭和 28 年に駅の北側に仮設のホームを作った。本小松という石が出るのでそれを採石して鉄道の軌道に乗せていた。新幹線ができるので、普通の砂利だと石が飛んでしまうが、飛ばない三角の石を探したところ真鶴の石が良かった。広場は縦に車が入れるようにしたのが元。その後、石は墓石にも使われるようになった。

・真鶴駅は、道路と駅舎との範囲が非常に狭い。駅舎を建て替えるときに、出口を両方に設けるといった方向にしてはどうか。小田原の東西通路はそうなっている。122 億円かかった。早川駅も同様の問題を抱えている。根府川駅は高上げをした。

会 長：ロータリーの送迎、交差点改良、南北問題、このあたりが交通の重要なテーマになっている。

委員：

・駅前に来たい車両をすべて受け止めるかどうか。ニーズがあるから車はやってくる。送迎が本当に必要ですかというキャンペーンをやっているところがある。これはモビリティマネジメントというが、実はピークのほんの少しの時だけ混雑するということがある。それでも本当に必要な送迎については、駅でやるのか、少し離れたところでやるのかになる。ニーズを知った上で、駅前のあの空間ですべて受け止める必要はないだろうと考えてもよい。駅の北側になるかもしれないし、国道の前後の空間を使うことになるかもしれない。

・交差点はどうにもならない。できることなら既にやっている。旧道もお金を取るとか、新道と旧道の分担、それも望ましくないということであればそれも含めてということかもしれない。これはランドデザインということになるかと思う。駅前の交通量をどうするかということを引きちんと議論すれば自ずと答えは出てくる。

・駅の計画でいうと、北側と南側を分断しているところは否めない。できるだけ駅を降りた人が行きたくなるように、今だと行きたくなるという感じではない。知っている人は行くし、用事があれば行くが、空間的な一体感はない。それをどこまでやるかというのが一番大きいと思う。

・南北は、機能的には既に跨線橋がありエレベータがあれば担保はできるはず。それ以上のことをやると急にお金がかかる。どこまでやるかになる。現状の跨線橋でエレベータがついて、行くのは今までより楽になるが、山側と海側で市街地の一体感が出るかというとなかなかそこまではいかない。そこを町として重要だと考えるのであればやり方はあるかもしれない。純粋に機能としてみればエレベータをつけておしまい、十分ということになる。個人的にはもう少し一体感があってもいいのかなと考える。橋上駅舎がいいのかどうかは判断が難しい。

委員：

・駅の北側には中学校があり、その入り口にちょうど車が 1、2 台停められる。しかし、中学校の前での送迎は危ない。迷惑をかけている状態。そういうものを作るのであればきちんとした送迎場所を作ってもらいたい。

会 長：図面にあるほどのものではなく、少し送迎できるスペースを作れば、ある程度の危険性は回避できる。

委員：

・難しいのは、今の空間でもピーク以外の時間はかなり車用のスペースがあるというのが印象だろうと思う。ピークになれば一杯になるので、ピークにあわせて作るのがよいのかどうか、送迎の方はちょっと歩けばいいのであればそこを使う。駅前にこっそり入って送迎することが危ないということもあるので難しい。真鶴駅の乗降人員としては、あの駅前の空間は決して狭くはない。個別の時間帯としては足りなくなるが、あのままダウンと大きくなるというのは直感的にあまり考えたくない将来像ではある。

会 長：直近の問題としては、送迎をどの程度どのように処理するかという問題と、それに加えて観光客やタクシーとかの

受け止め方。真鶴駅くらいの乗降客数であれば今の大きさでも十分ではないかというご意見もあった。ただ、観光地という部分もあるので、そのあたりをどうするか考えないといけない。交差点についてはどうにもならないと。やれることならやっているの、今の交差点を前提にして考えるべきだと。ただし、商店街と駅が分断されているので、一つになるようなことができないかと。駐輪場については、観光案内施設があるけれどもバラすべしとペイしないだろうということであった。

・こうした項目ごとではなく、issue ごと整理したほうがよい。次回は、送迎問題、交差点の安全確保、南北の連携、商業の活性化と利便性、このぐらいの内容で整理するのがよいのではないか。

・それでは全体コンセプトについて。現在の「利用する人、訪れる人、住む人のだれもが、快適に利用でき、魅力を感じるまち」というのはあまりにも当たり前すぎる。湯河原では湯けむりというテーマで設定されたということなので、もう少し真鶴っぽい感じに。今のものでは真鶴感がゼロ。駅はまちの顔になる部分なので、工夫したいところ。

委員：

・湯河原駅は営業車と一般車両が別々になっている。営業車のところは一般車進入禁止でタクシーが自由に出入りできる。真鶴は混在していて非常に問題。一般車両、バス、タクシーと色分けしてやったらよい。昼間はたいしたことがない。朝夕やバスが終わったあとに混雑する。広さの問題もあって難しいが極端なことを言えば 2 つに分けたらよい。瞬間的なものですぐに送迎車はいなくなる。お金をかけなくても解決できると思う。

委員：

・駅前広場に入ってくる車はカウントしていないか。道路上の交通量は道路交通センサスがあるが。

委員：

・なんで真鶴がよいかと言うと、スローライフ。都会に住んでいて 12 年前にこちらに来て 2 年前に完全に移住した。7,000 人のまちなのであれやこれやできない。それでいいと考えている。せっかく美の条例があって、これが目指しているのはたぶんそれだろう。渋滞は、駅前を通るのにせいせい信号 3 回くらい。それを、信号待ちをしなくてもいいように道路を改善したり、交通規制を変えたりするよりは、受け入れたほうがよい。駅前駐車場は 15 分無料。そこをピークの時にはうまく活用するか、問題なのは料金所を出てから道路に入るのが非常に危険なこと。そこは工夫が必要。もう少し手前で一回信号を作るとか、全体を運動させるとか。私はそれらは受け入れて、魅力を掘り起こしたほうがよいと考える。私の真鶴の魅力はスローライフ。

委員：

・箱もでのイベントは他でよいし、自然の中の小さいまちではどうやったら観光地と言えるのか。住民が楽しく、土地に合った表情を守るとか、元気が良ければそれでよいのではないかと。そこに都会の人が魅力を感じてくれればよい。

委員：

・ケース ABCD とあるが、国道がすべて 3 車線になっている。これは前提なのか。

事務局：

・上りが 2 車線、下りが 1 車線。駅側に拡幅したイメージになっているが、案の 1 つとして考えていただければよい。

委員：

- ・半島のほうに曲がる車が道路を塞ぐ。特に石を積んだダンプカー。これが港から石を運び出すのに右折する際に駅前の車を止めてしまう。それが渋滞の元。右折レーンを作ってほしいというのが昔からあった。それが時差式にしてほしいと。右折レーンにするには道路の幅が足りないということで、将来的に自転車の駐輪場などを外して、奥に入れて広げるといことも考えているという話が前にあったので、そういう方向でいくのかなと考えていた。
- ・タクシーが車庫から出るのに、渋滞の車と車の間から出るので非常に危険を伴っている。私も東京に長かったので大した渋滞ではないことはわかる。しかし危ない。

委員：

- ・車の取り回しという意味ではよくない。駅前広場はJR用地。道路なら警察が入って交通処理をするが、民地から出てくるようなもの。問題があり協議の対象にはなる。ただし、解決方法は色々ある。今の問題をすべて受け止めて考える方法もあるし、問題をどこか別のところに移して考える方法もある。

委員：

- ・時差式にしてもらうだけでだいぶ違う。信号が赤になってから右折を始めてしまう。はっきり言って信号無視が常態化している。

会 長：新設の3車線目はJRの敷地に入っているのか。

事務局：そのイメージで作成している。

委員：

- ・道路事業なので譲ることは可能。3車線にして広場の機能を今の状態から圧縮された時に、広場が機能できるかという議論になる。

会 長：時差式でも今の状況よりはだいぶ緩和できる。

委員：

- ・朝夕で規制を変えたり、交通量の多い時間帯だけ時間差にしたり、時差式にすること自体はお金がそれほどかかることではない。

委員：

- ・駅前の広場はまちの土地か、JRの土地か。

事務局：

- ・JRの広場になる。

委員：

- ・広場には協定広場など色々な広場の種類があるが、真鶴については道路に接しているところから線路側はすべてJRが単独で底地を持っている。

会 長：今日の会議で議論になったのは、ロータリーの問題だが送迎と観光の受け止め方、5差路の交差点を右折レーンにするのか時差式にするのか、いずれにしても安全性を改善するためにどうするか、南北をつなぐ手段、商店街の活性化や駅前施設という4つくらいが大きなテーマであった。特に喫緊で解消しなければいけないのは、送迎車と観光客の共生、交差点を3車線にするのか、右折レーンを作るのか、時差式にするのかという交差点の安全性の向上、これらは駅前の周辺環境の向上に関して重要な課題になってくる。今のケースA～Dでは大々的に変えすぎているので、今の状態の図面がほしい。そこに何か書いて修正するほうが、思いが集約できてわかりやすいのでそうしたい。全体コンセプトについては、「美の基準を活かした身の丈のまちづくり」、サブタイトルをつけるとしたら「小さな幸せを大切に」と仮でさせていただく。駅前の交通の課題解消については、できるだけ早くするべきだと思うので、現状の図面を元に皆さんからご意見をいただいて、時差なのか右折なのか、右折にすると駐輪場問題が出てくる。次回は4つくらいのテーマについてもう少し具体的に詰めて方向性を決めていきたい。

事務局：

- ・先ほど2年間でやっていくという話があった。ランドデザインは他の3地区とあわせて4地区のものを今年度中にまとめる作業をしている。本日いただいたご意見はランドデザインの短期的なところに主眼を置いたご意見と受け取った。ランドデザインは中期的、長期的な展望も含めたプランとなる。駅前を具体的にどうしていくかについては2年かけてもよいが、ランドデザインについては今年度中に策定する。次回の会議は年明けくらいの予定だが、1月の末からランドデザインのパブリックコメントを予定しているので、ランドデザインへのご意見をうかがうのは難しくなる。方法は検討させていただく。

会 長：例えば、送迎車と観光客の共生をするというのがランドデザインだと思う。今テーマ出でて、南北をつなぐとか、商業を活性化することがランドデザインであり、これで十分だと思う。

事務局：

- ・町長からは夢を描くようにという話も出ている。今の議論と逆行するような、お金がたくさんあったらどうだろうというようなことも考えざるを得ないような状況にある。

会 長：お金があっても小さな幸せの時代なんだと思う。

事務局：

- ・町民の中にはお金をかけて人をたくさん呼びたいという意見もあるので、ランドデザインの中にはそういうことも入ってくる可能性があることもご承知おきいただきたい。

会 長：大きなことはよいことだという時代は終わったと考えている。「小さな幸せを大切に」がランドデザインで私はよいと思う。多くの皆さんもそう考えていると思う。町長のご意見もあると思うが、人口のインパクト感を見る限り、あまり無謀な計画をたてると、計画の意味がなくなる。

事務局：

・計画ではなく、あえて構想という言い方をしている、その部分にそういうことも考えて入れておくという意味がある。その中で、できることからやっていくという発想になっている。その辺もご理解いただきたい。

会 長：わかりました。わかりましたがそういう時代ではない。「美の基準を活かした身の丈のまちづくり」というのが、1991年に条例をつくって、バブルの時代を切り抜けてきた真鶴町が守ってきた姿勢なので、それこそが真鶴町のあるべき姿だと思う。30年間美の基準でやってきた自負もあると思うし、町民の皆さんの想いも、必ずしもそれだけではないにしても、今まで守られてきた大事なこともたくさんあると思うので、ぜひ大事にしてほしいと思う。

(2) その他

- ・前回の会議のあと、意見の抜粋だけしかこないで、議事録で残していただいて、意見がコメントだけだと何を求めているか、次のステップにいった時に残らない。キーワードも大事だがキーワードを抽出した皆さんの意見、前後が大事だと思うので、議事録要旨で確認して残していただきたい。
- ・前回と今回の結果をふまえて整理した後、来年1月くらいに第3回の検討会議を予定する。ランドデザインは今年度中、検討会はあと1年続く。方向性としては、短期・中期的なことをこちらの検討会で具現化していくイメージでいる。ランドデザインのパブリックコメントがあるが、そこには夢的なものが入ってくるかもしれないが、これは超長期と捉えていただき、いつか叶うのであればやりたいという考えのもとで、認めるか受け入れるかそういう話ではなく、ランドデザインとしてこういうものを立ち上げるというご理解で、誤解のないようにしていただきたい。住み分けが難しい部分があるが、次回報告になるのか検討になるのか、両方やるのかここで断言できないが、今後まとめて、次回1月くらいに再度会議の通知を出させていただきます。
- ・パブリックコメントをすることとは、これは公式見解になるのか。ここで議論して色々な意見が出ていて、パブコメとここでの意見がかなり違っていた時にどうなるのか。今の話だと、この議論を超越したことも、と聞こえるが、公式見解でそういうことをすることか。
- ・パブコメは4つのランドデザインに対してのもの。ここで議論されているものより話が大い部分が出てくるのが可能性としてはあるので、その辺をご理解いただけたらなということ。
- ・パブリックコメントで意見を出せばいいのではないか。
- ・そういう認識でいいということなら良かった。意見する。
- ・身の丈でいいと言っているのに、こんな構想なんて作っても意味がない。もっと実のあるものを作りたいと思う。
- ・11/23と11/28にランドデザインの説明会を開催する。そういったところでのご意見も活かしていく。
- ・転出入者にはアンケートをとっているの、集計結果を整理してお示する。
- ・簡単な集計だけでなく生の意見が知りたい。
- ・私も知りたい。
- ・皆さんの意見はほぼ同じだが、ランドデザインとは方向がずれているのだらうと思う。会議録を残していただいて、我々はこの議論をしたということがちゃんと残されて、次につながればいいなと思う。

3 閉会

以上を持ちまして第2回真鶴駅周辺地区構想検討会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

岩漁港周辺グランドデザイン策定に係る関係者協議
岩地区地域水産業再生委員会 会議概要

日 時：平成 30 年 11 月 6 日（火）午前 10 時から 11 時

場 所：岩漁協議室

出席者：委 員 岩漁協 7 名
有識者 1 名
神奈川県職員 1 名
町職員 4 名

○ 委員からの意見

- ・ 港の規模が小さいので、防波堤を延長するなどして、漁港施設の拡充が必要である。
- ・ カヤックの出入りが多く危険なため、ルール作りが必要である。
- ・ 水上バイクの出入りは禁止している。
- ・ 防波堤での釣り堀はよいが、渡船業務、日常の施設整備や管理など人員不足もあり現状のままでは対応ができないと思う。
- ・ 漁港も含め近隣に商店がない。J A跡地を利用するのはどうか。
- ・ 夏は海水浴場があるが、それ以外の季節には魅力がない。
- ・ 岩ガキは期待しているが、課題は多い。
- ・ 岩ガキ加工施設等の整備が進んでいるが、キャスの整備は必須と考えている。
- ・ 岩ガキやサザエなど獲れたての海産物をその場で食べられるパーベキュウなどが考えられるが、漁港にキャバがない
- ・ 人が来るようになればトイレが足りなくなる。
- ・ 漁港整備を進めるには、まずは沖防波堤の整備が必須である。
- ・ 防波堤が完成すれば岩ガキ養殖のイカダも設置できる。外海での事業は不安もある。
- ・ 台風対策として、駐車場のかさ上げが必要である。
- ・ 若手漁師を育成するため漁師用の住宅があるとよい。
- ・ 岩地区には漁師を住ませるアパートが少ない。
- ・ そもそもイクスは外海には無理があるのではないか。
- ・ 新しい産業を起こさなければ町の活性化はないのではないか。
- ・ 新たな事業を起こすことはよいが、夜間の光は定置網に影響を及ぼす。
- ・ 今回の区域外ではあるが、旧道沿いに道の駅や飲食店を作るとうまくいくのではない

真鶴漁協ヒアリング

日時 平成30年11月16日(金)

午後1時00分～2時00分

場所 真鶴漁協 2階

現状・課題、今後利用していくうえでこうなったらいいと思うこと

- ・真鶴港は定置網がメインなので、船上花火を定期的にやると、魚が逃げてしまう。
- ・漁業体験については現在やっているが、新規は受け入れていない。問い合わせはあるが、人手が足りず、断っている。漁協の職員数人でやっているため、平日にやれることしかやっていない。(真鶴中学校、横浜の本宿中学校など、既存で何年も来ているところのみの受け入れ。後は、観光協会に断ってもらっている。)
- ・漁協体験は受け入れ態勢が整えば対応可能。現在は漁協の職員・従業員数人で業務中に対応している。
- ・漁火で幻想的な雰囲気と書いてあるが、光などは漁獲に影響するので、漁師が神経質になる。
- ・魚座の前で行っている朝獲れ直売は人気だが、今の規模だからできています。500人ぐらい来てしまったら、売れる魚が無い。
- ・朝獲れ販売は50～100人規模が限界。時間は朝4時間ぐらいやっていて、その後は、事務仕事をやっている。本業の給料をもらいながら、人件費タダでやっている。お客を呼ぶととなると、漁の無い時でも魚を揃えて、店の売り上げを上げなくてはいけない。そうすると、真鶴以外のよその魚を引っ張ってこなくてはならない。そのため、この規模が限界。お客さん呼び寄せるのでは無く、お客さん自身が好きで買いに来ている人のみ。真鶴の魚のPRだと思ってやっているの、このスタイルは崩せない。
- ・魚座も民間に自由に貸せたら良い。
- ・魚座はランドマークだが、造りが特殊。
- ・漁協は釣りを禁止していない。釣り人は結構来る。
- ・ジェットスキーは、移動距離(出港地からの距離)など規制はあるが、船や定置網に今のところ問題なし。(真鶴港では地上から入水するところが確保できないので、海上から来港している。)
- ・カヌーが多い。危ない。決まりが無い。ライトも付けずに夜に来る。
- ・大型バスが来ても、Uターンする場所がない。
- ・うに清の手前のグラウンドより先は、町が用意した電気バス等、指定された車両しか入れないようにする。半島に魅力がある物があれば、お金が落ちるのでは。魚つき保安林も守れる。
- ・電気自動車しか走れない半島にする。
- ・亀ヶ崎、展望公園、三ツ石の辺りを魅力あるものにできればよい。
- ・電気自動車会社を呼ぶ。テスラ無料貸し出し。
- ・バイクのツーリンググループの居場所。
- ・漁協としてほしいものは、集会所がほしい。市場を広くしたい。
- ・漁協のいま空いている駐車場を買い取ってもらって、荷捌き場を広げて、飲食店をつくってほしい。
- ・真鶴港にもCAS冷凍の施設があれば、鮮度がよく保てる。
- ・空家を新規の漁師に貸し出したい。(漁師宿舎)
- ・防波堤は県の管理なので、活用は難しい。

真鶴町ランドデザイン策定業務 真鶴半島地区 関係者協議
第3回お林保全協議会 会議意見要旨

日時 平成30年11月16日(金) 14:00～
場所 町民センター 第2会議室

1 議題

(1) ワーキンググループ会議の経過報告について(資料1)

<事務局説明(町長欠席)>

<委員から報告>

(2) お林調査について(資料2)

<事務局説明>

(3) 真鶴半島ランドデザインに関する意見交換について(資料3)

<事務局説明>

委員意見

委員: この町に来てほしい。お金を落としてほしい。誰に来てほしいのか。お金を落としてもらうにはどうしたらよいか。お金を落とすのはだいたい年配の女性。年配の女性が来るところは、“きれいなもの”、“甘いもの”、“みんなで話しができる”、この3つが揃うと来てくれる。お金を落としてくれるような要因を作りながら、誰を対象にするのかを協議するべき。

委員: お花のある真鶴。(例: 三島・長泉。花が多い。)街中の電信柱にもお花が飾ってある。歩いていても感動するし、バスの中から見ても感動する。参考になる。きれいな物を見せて何を食べさせるか。真鶴は泊まる場所が無い。木を切らずにできるもの(ツリーハウスなど)がよい。

委員: 吊り橋(例: 三島・伊豆など)。

委員: 大型のホテル・マンション・イルミネーションなどは、魚が光を嫌うので、漁獲に影響する。

委員: お林の中に行く公共交通の本数が少ない。草木花の案内(入口に看板を付けるか、木それぞれに付ける)。今のままの状態、セグウェイ、電気自動車等でパークアンドライド。歩く人も移動する人も危険のないようなコース設定。道の整備。

委員: 植物等の案内は、看板だと分かりにくい。

委員: 三浦半島や伊豆半島も案内(看板・案内版)があると良い。見晴らしの良いところなど。地元の人には分かるが、観光客は分からない。

委員: 小松石にQRコードを入れ、スマホで読み取る。花等の名前が分かる。将来的にはそういうのも手かと思う。試作も既に存在している。

委員: ハマユウの球根を海岸に植えたことがあるが、みな盗まれてしまった。

委員: 半島全部を博物館にする。スマホのカメラをかざすと、草木・花・魚・鳥など、すべての

案内が出る。現在は、個々のアプリはある。それを町がまとめて繋げれば、実現可能。入場料を取るなどする。建物はいらないので。

委員: それは良いアイデア。ただ管理が問題。

委員: 野鳥の観測所は管理しない。立ち入れないように。管理というよりは制御。自然のままをどう生かすか。

委員: お林は町民や外部それぞれのニーズが必要。お林だけでなく、“美の基準”に沿って、みんなが集まれる・ひとつになれるまちになってほしい。看板を工夫する(距離などなく、分かりにくい)。記憶に残る親切な案内。教育面は海洋教育をまち全体でやる。地場産(小松石・みかん・魚)・環境問題・食育・自然・気象・地学など、それら全てを海洋教育としてできるような形を作っていく。

事務局: “美の基準”は4地区につながることで、他の地区にも伝える。

委員: 通り(道)に名前を付けてはどうか。「海岸通り」とか「美術館通り」とか。駅に降りたときに、真鶴と分からない人がいる(看板等が必要)。

委員: 富士山は噴火してなくなる可能性が高いが、伊豆半島、房総半島、大島、海は残る。ロケーションを活かす。100年後も変わらない物を活かすことを考えてみてはどうか。

委員: 漁業者からいうと、魚つき保安林を忘れてほしくない。下手にホテル等は開発してほしくない。自然の植物園の方向が良い。

委員: 厳密には原生林とは言えないが、お林は関東の中でも非常に珍しい存在。学術的にいっても素晴らしい。良い研究材料。

委員: 魚つき保安林と漁業の結びつきの知名度が低いのでは。特に若い世代。

委員: パンフレット等には書いてあるが。

委員: 海から見る真鶴もキレイ。

委員: 星ヶ山ゴルフ場から見る景色がキレイ。

委員: 小田原城から見る真鶴半島は相模湾のアクセントになっていて良い。

委員: 漁業・森・歴史。一体感を説明し全体の価値をコーディネートし発信していく。自然や人の営みを知ることと価値としているお客さんは、今後増えていくと思う。クオリティが高いお客さんが来てくれる。時間があれば真鶴に来る「真鶴ファン」を生み出し、そこをターゲットにしていくと、客単価も高いし、シーズン変わらず来てくれる。子どもをひきつけるもの(例: 二宮の公園のふわふわドーム)があると良い。真鶴には遊ぶ場所がない。子ども連れが自然と集まり周る仕組みづくり。観光ではないが。

委員: 海の学校は年間3,000人～4,000人学習に来ている。

委員: 巨木の森というのを知ってもらいたい。海岸にあるのは珍しい。PRしてほしい。

委員: 真鶴の民宿等で真鶴の魚を使わない。別の土地の魚を出してしまうのでリピーターがない。

委員: ふるさと納税で岩の民宿の宿泊・漁業体験等を12月から発売する。4人で漁船貸切。

委員: 名古屋の銘木市場に真鶴産のものが出ているようだ。10万～60万円。クロマツの大きいものは需要があるのでは。寿命で無くなってしまうのなら、使えるうちに切って売るのは一つの手だと思う。真鶴のPRにもなるのでは。

委員: 切って良い木は切るのもありだと思う。

(4) その他

平成30年度真鶴町ランドデザイン策定業務委託事業にかかる住民との検討会要旨

実施日	平成30年11月23日（金／勤労感謝の日）午後1時～3時
場所	町民センター講堂
参加者	○町民21名 ○議員5名 ○記者1名 ○職員4名 ○担当課15名（企画調整課・まちづくり課・産業観光課） ○サーベイリサーチセンター3名（計49名）
目的	ランドデザインを策定するにあたり、広く町民から各地区に対する意見や提案を聴取する。（既に出されている意見等や行政に対する批判や質疑を言う場ではなく、ランドデザインに対する建設的な意見等を出してもらうこと）
①岩漁港	1 カキと書いてあるが若ガキなのかカキなのか、ユニークな海水浴場とはどういうものか、これらの記載がはっきりしないと意見を出しにくい。 2 漁業者と住民との交流が進まないと言われている。直？（自家？）販売ができるとよいが… 3 岩漁港のトイレの周りは子ども目線では安全性に欠ける。全体としては現状のままでよい。 4 ハンパを獲得することができず漁業権を買えと言われる。ハンパは町の文化でもあるのでなんとかならないか。
②真鶴半島	1 亀ヶ崎がどんな状況か教えてほしい。 2 これがすべての意見か。この意見だけで進められるのか。若手職員等の意見はどう反映されているのか。 3 現状のままでよい。全町統一的に規制するのはよくない。山を削るな、木を切るな、海を汚すな。 4 亀ヶ崎は歴史的文化的なことが行われた地域。開発ではなく蘇るような整備をしないとよい。お林があるからおいしいお魚が獲れる。 5 お林全体が以前より荒れているように感じる。真鶴の子供たちは自然に親しむことができる。子ども達が安全に遊べるような整備が必要。 6 町内にはまちづくり条例の規制で再建築ができない家が1/5ほどあるのではないかと。25年が経った今条例の見直しが必要。それがなくてこの構想はあり得ない。再建築ができない物件は資産価値ゼロ。投資の対象となるよう資産価値を上げる必要がある。 7 JRの南北で規制を変えるべき。 8 真鶴町にとって半島は特殊な地域。地域ごとに特色がある。 9 高齢者が多い。かつての真鶴銀座はシャッターが閉まっている。高齢者は買い物だけでなく理容や美容も困っている。閉店した店舗を、町が起業家との間を取り持つて、店を継続してもらうような工夫が必要。空き家を活用することも検討してはどうか。 10 町内唯一の本屋も閉店すると聞いた。本屋がなくなると町が動くべきではないか。 11 空き家が点々とあるが、過疎債を有効活用するべき。若い人が来てくれるようにしてほ

	しい。
③真鶴港	1 魚座の水槽を漁協へ委託しないと維持できないのではないかと。真鶴港で釣り遊びができる場所を整備すれば子どもだけでなく観光客がお金を払って遊ぶ可能性もある。し尿処理施設を駐車場にして、処理施設は廃止となることは明らか。前回は湯河原境の道路の件も質問は受けないとされた。 2 転入して1年半、子どもが4人いるが実際に港で遊ぶことはない。港や漁業は真鶴にとって生命線である。港に人を誘導する動線が全くない。現状プラス1の施設が必要だと思う。 3 近所に住んでいる釣りをする人から言われた話だが、湾内が汚いので凄まじくきれいにしてほしい。魚の姿が見えるくらいになるとよい。 4 町外からの釣り人と会話している。棧橋で少し沖に出られるような釣り場があったらよいと思う。
④真鶴駅	1 引越して来て半年。休日に大道通りのお店が閉まっていてガッカリしている。店の維持や誘致は難しいと思うが営業するお店が増えてほしいと願っている。本屋さんが増えることもよい。 2 駅前の渋滞は車線を増やす以外には手はないと思う。駅舎の鶴の絵は何とかしなければいけない。 3 駅舎の絵はボランティア等で色を塗れるのではないかと。 4 トイレをバリアフリーに、待合室から丸見えを改修してほしい。 5 20年前は駅舎の絵がきれいだった。横に大きなシュロの木があった。年とともに劣化した。以前にJRに確認したが、耐震建物でないこともあり絵をきれいにすることはできないと言われた。もっと真鶴らしさを出すものを駅の構内外に考えた方がよい。看板もきれいでない。駅ウラの松の木も枯れてなくなった。唯一ホームに花が植えられていること。 6 駅を降りても案内板がない。もう少し真鶴らしい何かほしい。 7 送迎の車両が多い。ルール作りが必要。中学校の入口で乗降を行っているのが危険である。北口として駐車場の設置も検討してほしい。 8 駅のロータリーは無秩序で使い勝手が悪い。タクシーとバスのスペースを減らし、動線を変更する。中学校の入口にスペースを確保するのも1つの手であるので検討してほしい。 9 有識者の方の検討ではどんな意見が出ているのか。 10 駅舎の橋上案はどうやって出された意見なのか。 11 エレベーターが片側だけでは何の意味もない。駅ビルは必要ない。がんばっている町内の商店に観光客が寄るようにするべき。 12 隧道の拡幅は寄与しないではなく、住民としては車が行き来できればという思いがあるので、よい方法を考えてほしい。 13 ロータリーをなくし駅舎を上につくれば、かなりのスペースが確保できるのではないかと。思い切りが必要。 14 隧道の工事は賛成だが、工事中も通行できるようにしてほしい。 15 寄与しないと書いたが、大金をかけて本当に町のためになるのか疑問がある。大金をかけるのであれば城北地区に商店を誘致してほしい。 16 福浦境の所に道路を作る計画があったが、この道で駅前の渋滞が解消できるのではな

いか。費用と時間を知りたい。

17 北の高低差が合う場所に橋を作ればよいのではないか。

18 今年引越してきて子どもが二人いる。真鶴にきて外で遊ばせる場所に悩んでいる。荒井城址公園は坂が急で行きにくい。子どもが遊べる場所を作ってほしい。

19 公園にはトイレがあって駐車場が必要。平らであることも必須。北側でもよいので公園を作ってほしい。そしてお店ができればよい。

平成30年度真鶴町ランドデザイン策定業務委託事業にかかる住民との検討会要旨

実施日	平成30年11月28日（水）午後6時30分～8時30分
場所	町民センター講堂
参加者	○町民14名 ○議員2名 ○記者1名 ○職員3名 ○担当課14名（企画調整課・まちづくり課・産業観光課） ○サーベイサーチセンター3名（計37名）
目的	ランドデザインを策定するにあたり、広く町民から各地区に対する意見や提案を聴取する。（既に出されている意見等や行政に対する批判や質疑を言う場ではなく、ランドデザインに対する建設的な意見等を出してもらうこと）
①全体～岩漁港	<p>1 東京から移住した。ランドデザインはどの位の期間の見通しで策定するのか。それぞれの地区をごちゃ混ぜに出すのではなく、いつまでにこのようにしたいという見通しと、こんな風になつたらという見通しをはっきりした方が計画が立てやすいと思う。</p> <p>2 資料2では、最初の取り掛かりが若手職員のワーキングとうことだが、なぜ町民から始めなかったのか。10/21の意見交換会はいつ町民にお知らせしたのか。</p> <p>3 今までの経過説明がなく、これまで出た意見が広報等に載っていない。経過がわからないと意見が出せない。</p> <p>4 3月に完成するとなっている。ランドデザインを検討する構成メンバーはどのような人が知りたい。内容を決定するのは誰なのか。役場が主体ということか。</p> <p>5 出た意見をどのように示してもらえるのか。言いつばなしになってしまうのが心配である。</p> <p>6 発言者によってそれぞれのイメージで発言してしまうので、毎回参加していないと、どこまで進んだかわからない。</p> <p>7 若は静かな場所のままよいので、あまり大きく変えてほしくない。変えなければいけない部分もあると思うので、今よりも源頼朝をはじめ歴史と石を大切にしてほしい。</p> <p>8 昔真鶴ではワカメがたくさん獲れたそうだが、なぜ獲れなくなったのかを調べて、ワカメ復活に取り組んでほしい。取組むには科学的な議論が必要となるが、3月までの間にその議論ができるのか。ここに示されている大小の項目の採択不採択にも相当の時間がかかる。今後の進め方が示されず本当に事業ができるのか。今年度で進めるのであればこの中から絞って取り組むべきである。パブリックコメントで意見を聞いても事業ができないのではないか。 ⇒ランドデザインは個別の整備計画や実施計画とは違って、大雑把になると思うが町の方向性を示すことになる。</p> <p>9 ランドデザインの中で町として骨や核になるのは具体的に何か。</p> <p>10 核となるのは安全安心ではないか。関東大震災では旧岩小学校まで津波が来た経験がある。真鶴港には防波堤ができたが岩にはない。町全体のコンセプトを先に考えなければ進まないと思う。</p> <p>11 ランドデザインを作る目的は、過疎に指定され人口を減らさないようにすることなのか。それとも観光客を増やしたいのか。または産業を発達させたいのか。子育てや教育の</p>

	<p>問題にも発展すると思うが、ここに記載の意見はどちらかというと観光対策が多いように見える。目的をはっきりさせた方が、意見が出しやすいと思うどうか。</p> <p>12 今、ランドデザインを中心に意見が出されているが、その前に今町民の皆さんが困っている、悩んでいることを事前に意見を集約して方向性を検討する必要があり、人口減少をどうするとどう移住させるとか町がやっていることは浸透していない。町民が考えていることと役場がやっていることに差があるのではないか。ランドデザインの前に地域で住民の意見を聞いて町民の目線で意見を聞いた方がよいのではないかと。</p>
②真鶴半島	<p>1 半島の推進協議会のメンバーである。掲載の意見はかなり矛盾がある。まとめるための判断基準がコンセプトと思うが、記載の意見とどう一致させるのか。パブリックコメントで決めてしまうと矛盾した意見の採択不採択を今年度いっぱいどう判断するのか。</p> <p>2 半島は県立自然公園、鳥獣保護地域であるが意見の中にある開発志向の部分はそもそも不可能だと考えてよいのか。町民にとって神聖な場所である一方で、開発志向の方もいる。法規制を引っくり返してでも進めるつもりもあるのか。</p> <p>3 開発は反対である。自分も含め遊歩道を散歩する数人がごみを拾っている。夏場は特にごみが多い。やはり半島をきれいにすることから始めるべきである。基本的に反対だが、もしどうしても開発するのであれば半島の先端に5つ星のホテルを造るとラッパと変わるので一流のものを持ってくるとよいと思う。</p> <p>4 自然を守りたいという意見に賛成である。方向性の1つ目は自然を守っていく。2つ目の滞留拠点の整備となると大型マンションを造ることのように思ってしまう。この方向性は開発と保全の両方を秘めている書き方に思える。相反する意見をどうまとめていくのかをはっきりさせてほしい。</p>
司会	<p>○前半の話を聞いた感想とこれからこんな議論をしてほしいというところですが、23日も同様にたくさんの質問をいただいた。この会でいただきたいのはご提案やご意見である。30年先をイメージして、このまま何もしないと人口は減ります。お店もなくなってしまふ。そうなると町として成り立たなくなる可能性もある。そのままではよければランドデザインは作らなくてもよいが、子や孫の代のことを考えると、何か手を打たないとこのままではまずいのではないかと。この町の意向もあり、絵を描いてみようということになった。こんな町だったらいい、みんなが住んでくれる、産業も活性化する、生活も便利になる、そのためにこんなことをしてみたらどうか、こんなのが必要ではないか、という意見を皆さんから伺いたいと思っている。</p> <p>○できるができないかはわからない。資料に載っているものも全部できるものではない。お金の心配も今の段階ではないで、ご意見をいただきたい。長期的な絵を描きたいという話をしたが、その意見であればすぐにできそうだといいことであればすぐにやればよい。いいことだけど長期的に検討しないとできないということであれば、長期的に検討することをランドデザインに載せていくことになる。</p>
③全体・真鶴港	<p>1 移住者やI・Uターンが増えている。子どもを産んで育てる町として町を売り込むことはどうか。当たり前のことに取り組むイメージから何か方向性が見えてくるのではないかと。真鶴特有の自然を活用した教育があったらよい。</p> <p>2 日本全体が人口減少。30年後に自然が残っていることは希少価値になる。一度壊してしまうと元に戻らない。真鶴には自然が残っている。</p> <p>3 中学校で運動部が成り立たない現状がある。貴船祭りなど町の伝統文化が絶えてしま</p>

	<p>うのではという危機感がある。</p> <p>4 子育て世代の方の生活実態をアンケート等で意見を取り入れてもらいたい。</p> <p>5 港は広いので端の方でもよいので遊具を置いてあるとよい。</p> <p>6 親戚が遊びに来た時に、海は砂がすぐくて汚れてしまうのであまり行きたくないと言われた。</p> <p>7 元々住んでいる方は子どもの時から見ているのであまり感じないかもしれないが、都会から移住した者から見れば、真鶴は自然が素晴らしいところ。近隣市町に負けていない。例えば海岸に何かを創るのであれば、人工的なものでなく自然のオブジェ風に創っていただきたい。駅を降りた時に、その町の雰囲気わかる。お金をかけなくてもすばらしい駅はできると思う。駅と港は関連性があり、真鶴全体を表現する場所だと思う。</p> <p>8 真鶴の地形が鶴の形に似ているというが、町内に鶴に関するものがあまりない。鶴の像を港周辺に創ってはどうか。</p> <p>9 移住して行く時に友人からいい所に行くねと言われた。真鶴で獲れる新鮮な魚を安く食べられる環境があればよいと思う。町内の磯料理屋や魚屋を見てもイマイちな印象である。魚を活かしてほしい。魚座の品物は高いし新鮮と思えない。</p> <p>10 町民はお祝い事等で町内の磯料理屋を使うが、普段はあまり行かない。</p>
④全体・真鶴駅	<p>1 出されている意見を見ると駅ビルに関しては反対していると思う。議会でも大きな問題であって110億かけるとか議論がなされている。今からいろいろな人の話を聞いて3月までに決めることができるのか疑問である。</p> <p>2 現在の駅は外から見えないが、外観はすばらしい。利便性等は変えるとしても外観は残すべきだと思う。抽象的だが真鶴に合っていることがその理由。残しておいたら希少価値になる。あとは周囲をどう整備するのか考えることが重要となる。</p> <p>3 平塚などこの駅も駅ビルがあり個性を感じない。真鶴に来たと思わせるには個性があつてよい。個性を残したうえでどうするのかを考える。</p> <p>4 駅ビルありきでないと聞いて安心した。ここに駅ビルを建てても集客できると思えない。駅ビルができると商店街に影響がある。電車から見える街並みで町の雰囲気がわかる。真鶴側の屋根を赤とか朱色で統一できれば、赤い屋根の町だとびっくりされると思う。</p> <p>5 駅ウラに住んでいる。南北の分断を解決できるのはよいがお金がかかる。新たに道路を作ってどこへ行くのか。エレベーターは7千万円もかけて1日に何人使っているのか。片側にしかない。現状の中でランドデザインを考えたら、また無駄なものを作ってしまうと思う。ロータリーや駐輪場の問題などはお金をかけてやるのではなく、新しいものを作るのではなく、今町民がどのようなことを不便に感じているのか等を調べて議論してからどうするか計画を立てる方がよい。110億かけて町民のためになるのか疑問である。</p> <p>6 箱物を作る費用の一部を看板を新しくする場合の補助に使って、色の規制をする、統一の色にするのはどうか。駅前の看板が統一されると感じが変わらと思う。あまりお金をかけずにやることできる。大きな駅ビルでガラガラよりも、小さなこじんまりした駅で賑わっている方がよい。</p> <p>7 移住者の家族を増やす、子育てをしやすい町として、朝8時に東京駅着の快速アクティを増便できないか。観光にもつながると思う。</p> <p>8 路線バスが減っている。駅北側と岩地区、福浦、川堀の方が送迎で駅を使っている。口</p>

	<p>ータリーも渋滞し、観光バスも入れない。渋滞の原因もわかっているはず。たまたま事故もある。ロータリーを本格的に考えて整備が必要である。閉店したパチンコ屋も町が買い取って駐車場に活用してはどうか。また、お金のことを考えないイメージとしては、隧道を拡幅したり、駅のホームを小田原側にずらしたり以前の砂利運搬の場所をうまく活用することも考えられる。ホームからの眺めもよくなると思う。</p> <p>9 早い時間帯と遅い時間帯の電車の本数を増やし、発着を熱海まで伸ばしてほしい。</p> <p>10 子育てや教育を考えて安心して子育てできる町として、日本一子どもを安心して育てられる町などを強くアピールして政策を打ち出してはどうか。眼科や皮膚科など町にない医療やいじめの対策など教育の面を取り入れ、安心できる町をうまくPRする。</p> <p>11 老人にとって暮らしやすい町となれば、老人に合わせて子どもも来るのではないか。夜遅い時間に駅から帰宅する際に、特に老人の足がない。タクシーも少ないので何とかしてほしい。小田原百貨店からの移動も同様である。車がなくても快適に過ごせる町にしてほしい。特急を1本止めてほしい。</p>
⑤全般	<p>1 半島に子どもが安心して歩けるように、狭いスペースでもよいので歩道がほしい。</p> <p>2 新道が通行止めの時に駅前道路が渋滞していた。駅前を通ってもらうように魅力を作らないといけないと思う。小田原側のトンネル付近からの半島の見晴らしはすばらしい。</p> <p>3 今日初めて来たが、これだけの人数しかいない。次に意見を聞いてもらえるのはパブリックコメントのことだが、興味のない方がパブリックコメントを出そうと思わない。このような意見の集め方でよいのか。もっと若い方、お年寄り、学校の先生など幅広く意見を聞かないとまずいと思う。機会を増やしていくべきではないか。</p> <p>4 再度確認だが駅ビルは作る方向ではなく再検討するということか。パブリックコメントをやって賛成の意見だけを通して3月に一挙に出すという恐れがある。コンサルの方は数千万円の委託料をもらっているのかかなりの立派なものを出さなければいけない。一番面倒のない計画を作ろうと思う。議会ではあやふやな答弁をしているが、それはやめてほしい。多数の町民の意見はそうではないということをご確認ください。</p> <p>5 こういう場合は今後何回があるのか。</p> <p>6 例えば半島のランドデザインでは、自然を保護する方向性と開発する方向性の2つの意見が出ている。そういうのはどのように決めていくのか。</p> <p>⇒町側で決めていくことになる。現状は迷っているからこそ両方書いてあると思う。内容によっては短期中期的には守るが、もっと長い目で見たら一部開発するというものも考えられる。50年先を考えたらお林の松はどうなっているのか。そういうことも考えないといけない。社会においては技術力が発達するなど、先がどうなっているかはわからない。夢のある話を取り入れながら、短い時間ではあるが取りまわしていきたい。パブリックコメント中でいろいろな意見をいただきたい。</p> <p><議員> はい。議員で今日は傍聴なので意見はあまり言うつもりはなかったのですが、一言だけいいでしょうか。今ね皆さんが言ってる疑問っていうのはどうのことかと言うと、ここで3回目ですよ、あの意見交換というのは。皆さんからどんな希望があったり、どういうふうにしたいかっていう、これさまざま、いいと思う人もいるし、これ違うよっていう人もあって、それもう十分いいと思うんですね。それでその後町の中で案を作ります。その案を作った時にその結果をもう一回町民の皆さんに返して、それはどうなんだろうっていうことをやりたいっていうこと</p>

を望んでいるんだと思うんです。それがこの計画だとそうじゃなくて、そのパブリックコメントだけ、庁内のワーキングとそれから調整会議で決めた問題について、それはそういう経過、ことをやらないでそのパブリックコメントでね、意見を言ってくださいよと、そういうことでその後結果をね、最終的に、あの決めるというような形では、せっかく町民の意見を幅広く聞いて、本当に将来にわたってのね、ランドデザインっていうふうなものになるのであれば、ほんとに町民の意見を反映できるようなね、合意をもってできるような、やっぱり手立てを十分にとるべきだと思うんですね。だからそういう点では私も一般質問する予定だったんですけど、皆さんとしては、これだけいろいろな意見を言ってるんだから、決まった案として町が案としてまとめたものについて、もう1回出して、そいで皆さんの町民の意見からこれはどうなんだろうとああなんだろうというような機会を何回かやっぱり持ったうえで、それで最終的にね、まとめるってようなことをやらなければ、本当の合意には、町民の合意にはなっていないかになって思いますので、ぜひそういうふうにしていただきたいなと私は思います。

(司会) ご意見として承らせていただきます。

・こういうことは役場の方が答えてくれた方がいいんじゃないですか。

⇒ランドデザインは構想ということで策定するものです。今の意見ですと、ここでやったものが事業として事業化すると捉えられているようですが、そうではございません。こうしていきたいという意見を今は出していただいて、いろいろな形で考えていきたいと思いますというものを3月末までに取りまとめようということをやっている。それに書かれているもので必要な事業があればまた話し合う機会が出てきます。このような方針で、こういうふうにしていきたいと思いますというものを今作っているとご理解いただきたい。3月までに作るものを必ず全部やるというものではない。

・30年先を想定して作ろうと考えているのか。

⇒もしかしら想定の中で10年経ったら、想定が変わってしまった時は方向転換もあり得ると思う。ただ今の時点で30年、50年先をイメージして作りましょうということなので、いろいろな声を入れて作りたい。実施計画を作るようなことではないことを誤解しないでほしい。

・先程おっしゃったのは、たたき台を見せていただきたいということですか。

<議員> はいそうです。だから、いいですかしゃべっても。しゃべってもいいなら言いますけども。じゃ一言だけで終わります。だからそのたたき台がないわけだから、そのたたき台を作ることだから、それは今課長が言われたように、その何て言うの、10年になるか30年になるかわからないけど、少なくともたたき台なわけだから、それについてはね、そのもう1回やっぱり町民の皆さんと一緒に、そのたたき台はどうかということ論議する機会があってもいいのではないかなと私は思います。

⇒それをパブリックコメントでやらせていただきたいというものです。

・こちらに来て20年位になる。埼玉の所沢にいた。所沢の道路計画を進めるにあたって、住民を移動などいろいろな問題がある。今の話を聞いていると、町としてはたたき台まで言っていないと思う。20年経っても進んでいない現状がある。

平成30年度真鶴町ランドデザイン策定事業にかかる子育て世代との懇談会結果要旨

実施日	平成30年12月3日(月) 午前10時~12時	対応等
場所	町民センター第3会議室	
参加者	○町民14名 ○企画調整課1名	
目的	ランドデザインの策定にあたり、子育て世代の方々から意見や提案を聴取するとともに、町政全般について意見や要望を聞き、町政運営に活かす。	
事務局から	・日頃、子育て世代の方から意見を聞く機会が少ないので、今日はランドデザインを機に設定させてもらった。 ・ランドデザインだけでなく、日頃感じていること、思っていることを話していただけるとありがたい。	
①ランドデザイン 関連【真鶴駅 周辺】	<ul style="list-style-type: none"> ・隧道の幅は、子どもの送迎等で助かる。 ・南側エレベーターができれば行き来がしやすくなるので早期に設置してほしい。 ・湯河原方面から来て町内への右折に戸惑い危険に感じることがある。矢印のある信号機に変えたりできないか。 ・駅前のロータリーも同様であんなに使いつらいロータリーはない。東京駅の八重洲口はバスとタクシーと一般車が分離されているので、それぞれの動線がわかと思う。 ・駐輪場前の横断歩道が危険である。表示をするなど何か手立てが必要ではないか。早めの対応をお願いしたい。 	○ランドデザイン に対する意見として集約
②公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園がほしい。荒井城址公園は全体的にうっそうとして危険な感じがして子どもを安心して遊ばせることができない。 ・大型遊具があるとよい。 ・半島内にも遊べる公園がほしい。今の展望公園では遊ぶことができない。 ・展望公園は家族で行くような場所ではない。景色もよく明るい公園なので遊具があたり遊べるスペースがあるとよい。 ・公園は平らな土地という先入観があるが、他の地域では傾斜や斜面を利用した公園もあるので参考にしてほしい。車でのアクセスが可能であれば、公園の中に急坂や山があったりトンネルを作ったり真鶴らしさを活かした公園もおもしろいと思う。 ・荒井城址公園のトイレの前の生垣は、安全性の面から低くした方がよい。また、全体的に見通しをよくすることで安全性が保たれると思うのでぜひ対処してほしい。広場で遊んでいる子を見渡せるように木を切ってもらえたらよい。 ・以前にはアスレチックがあったようだが、整備しないのか。 	⇒まちづくり課 ○主に荒井城址公園に対する要望なので、整備や管理の見直しをからめて回答を作成

	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーで行くにはたいへんなので、活用するためには何とかしてほしい。 ・駐車場の位置がわかりづらい。管理棟周辺を駐車場としてうまく活用できないか。 ・もし荒井城址公園で自転車に乗ってもよいとなっても園内まで行くことは難しい。 ・荒井城址公園には生きがい事業団の方がいるが、子どもの積極的な見守りをしてもらえないか。 ・以前の荒井城址公園の池には竹やぶ側に小川があったが、いつの間になくなってしまった。荒井城址公園の池も、今のままでは難しいが少し手を加えれば水遊びができる池になるのではないか。 	
③町政全般	<ul style="list-style-type: none"> ・土日での利用者がいない場合に、小中学校の校庭で遊んでよいのか知りたい。 ⇒<u>どういうルールが確認する。</u> ・自転車を乗る場所がない。現在、小学校で乗ることができないようである。将来を考えると子どもの頃に自転車に乗れるようにしておきたい。 ⇒<u>自転車乗りのルールを確認する。</u> ・港は自由に遊んでよいのか。 ⇒<u>どういうルールが確認する。</u> ・車に自転車を積んで夢公園に行っている方もいる。 ・海は子ども同士では遊びに行かせられない。真鶴に住んでいるのに水に触れ合う機会がないので、海に行く前のステップとして都会の公園のように、水遊びができる池(通称ジャブジャブ池)、夏季だけ噴水があるような場所を整備してほしい。 ・岩海岸は夏場に駐車場が有料になるので毎週でも遊びに行きたいが行けない。岩ふれあい館に駐車してもよいのか。 ⇒<u>どういうルールが確認する。</u> ・琴ヶ浜駐車場は町民は無料になるのに、なぜ岩海岸の駐車場は有料なのか。 ⇒<u>町営と漁協運営の違いを説明した。</u> ・お林の遊歩道がうっそうとしていて小さい子どもと2人では入る勇気がない。例えば管理事務所があって巡回したり整備の手が入ったりしている状況があると気軽に入れると思う。光の明るさというよりも人の目が行き届いているという安心感がほしい。 ・わかりやすい看板が整備されていればよいが、文字がかすれていたり整備が整っていないと入ろうという気になれない。 ・町内を歩いている観光客も多いようなので、もっと町に取り込んでいくとよいと思う。 ・バードウォッチングなどできないのか。 ・昔の子どもたちは海でも山でも勝手に遊んでいたが、今は時代が違う。 ・昔、お林までの移動はどのようにしていたのか？もう少し子どもが歩けるよ 	⇒教育課 ⇒教育課 ⇒まちづくり課 ⇒教育課

<p>うな歩道があるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかく真鶴に住んでいるのに、放課後に外で遊ぶ機会がないのが残念。 ○家でゲームをして遊んでいることが多いのではないかな？ ・外で遊ぶ場所がないから家で遊ぶが、場所があれば外で遊ぶと思う。 ・情報センターや町民センターにみんなで集まってゲームをしていることがよくあるので、室内だけでなく、外にも溜まれる場所があるとよい。 ・旧パチンコ屋跡地を更地にして何かするような計画はないのか。駐車場としても活用できる。 ・このままの真鶴が好き。現状のままの真鶴で育てていきたいが、城址公園も怖い。どうしても危険回避を一番に考えてしまう。資金の話がからむが地元のおじいちゃんが管理人として常駐してくれたりできたら安心できる。 ○町情報が伝わらないが、どのようにしたらよいか。 ・広報を読んでいるが、ネットで確認できたら一番よい。 ・町ホームページに子育て情報がまとまっているとありがたい。転入する際に苦労したので、移住者に向けては、二宮町が整備されていてよいと思った。 ・意見交換会や住民との検討会もお便りで承知していたが、自分が参加してよいイベントなのかわからない。例えば若いお母さんの意見を取り入れたいので来てください、のようなことが書いてあると参加しやすいと思う。わざわざ土日子ども連れては行きにはハードルが高い。 ・まな小体育館の下のトレセンってなに？今とは違ったうまく使い道を考えてはどうか。 ・トレセンの出入口に水が溜まることがある。衛生的にもよくないので対応してほしい。 ・まなっ子が手狭になってきた感じがするので、トレセンが子育て支援センターになるとよい。室内で子どもが体を動かせる場所になってもよいのではないかな。 ・小田原のマロニエは登れる壁などが整備されていて使いやすい。参考にしはどうか。 ・まなサボは1週間前の予約、3時間限定で有料だが、もっと使いやすくできないか。使いたい時は急な場合も多いので、無料で前日予約だとありがたい。ボランティア等もうまく活用できないかな。 ・ファミリーサポートが真鶴にはないので検討してほしい。 ・ひなづる幼稚園の延長保育も検討できないかな。 ・インフルエンザ予防接種の助成は、対象を入学前の子どもに拡大できないかな。 ・「他自治体では○○なことをしている」という話題が出ているが、他団体の成功事例を活用してはどうか。トレセンのことも埼玉県北本市では児 	<p>(町職員から質問)</p>	<p>⇒教育課</p> <p>⇒健康福祉課</p> <p>⇒健康福祉課</p> <p>⇒健康福祉課</p> <p>⇒健康福祉課</p> <p>⇒教育課</p> <p>⇒健康福祉課</p>
--	------------------	---

<p>④参加できなかった方からの意見(1)</p>	<p>児童館を外部委託してうまくいっている。図書館があって2階が児童館、3階が屋上で遊べる遊具とロッキングのような施設がある。子どもがたくさん集まっていて5～6名の保育士が常駐している。参考してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関係の施策が充実すると子育て世代がもっと移住してきてくれると思う。移住者と地元の方との交流がないので、機会があればもっと仲良くなれるのではないかな。 ・つちのこクラブの活動場所(町民センター1階の老人図書館?)がとても狭く、活動もマンネリ化しているので、何とかならないものかな。 ⇒町の施設を利用している民間の団体なので、参加している方が集まった時に話し合われてはどうかと提案した。 ・中学校の給食を実現してほしい。 	<p>⇒政策課</p> <p>⇒健康福祉課</p>
---------------------------	---	---------------------------

	する者としては思います。	
⑤参加できなかった方からの意見（２）	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に行かれる公園があったら嬉しいです。 ・町内を走る車のスピードが速すぎて、子どもを歩かせるのが怖いです。 ・子どもの学校帰りや休みの日など、広く走り回れる場所や、児童館があるといいなと思います。 ・まな小体育館のところにトレーニングセンターを使えるようにしたらよいと思います。 ・トレーニングセンターを何か活用できるとよいのではと思います。 ・駅から駅裏に行くためのエレベーターができると、駅⇄駅裏の行き来がしやすくなりありがたいです。 ・ずい道が車も通れるようになると駅裏からの行き来が便利になりうれしいです。 ・荒井城址公園、ふれあい館に子どもが遊びに行くのですが、目が行き届かないため、見回りをしてくださる人がいるとありがたいです。 ・まなっこひろばがなかったころは同じくらいの子どもの持つ方とのつながりがなかったで、まなっこひろばがありがたかったです。リサイクルフェア等もやっていただき、子育て環境がよくなっていると思います。 ・真鶴町の子育てセミナーや赤ちゃん訪問、妊婦向けの教室などがとてもよかったです。はじめての出産、子育てで不安だったのが保健師さんや町の担当の方、民生委員さんとても親切丁寧にしていただいたので、安心して妊婦期の頃から過ごすことができている。少しでも不安なことがあると皆さん本当に丁寧に話を聞いてくださって、アドバイスや情報をくださったり、とても心の支えになっていました。出産当時は自家用車がなかったので、出産の時だけが不安でしたが、今は専用の救急車もできましたし、これからもこのような形であつたらいいなと思います。 	

真鶴町港みなとまちづくり協議会 総会（第2回）

日時 平成31年1月21日（月）
午後1時30分～午後2時20分
場所 会議室

1 開会

・あいさつ（まちづくり課長）

2 会長あいさつ

・あいさつ（会長）

皆さんこんにちは。本日もお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また、11月11日に開催された豊漁豊作祭は、皆様のご協力によりまして、無事に滞りなく進められました。ありがとうございます。おいでいただいた皆様からも大変すばらしい体験ができたこと、喜んでいただきました。

本日は、先ほど説明がありまして、前回の会議の際、ごく簡単に説明があったランドデザインに関して、具体的な事項ができたようですので、そちらの説明を受けて、皆様から意見をいただき、それらを反映させてより素晴らしいランドデザインを作り上げたいと思いますので、よろしくお願ひします。

3 議題

(1) 真鶴港周辺ランドデザインの策定について

- ・ランドデザイン全体の概要説明（企画調整課）
- ・真鶴港周辺地区ランドデザインの詳細説明（まちづくり課）

県西土木：短期事業の概算事業費で「水産業の振興のための施設として、魚座の再活用」の2,000万円は、具体的には水槽の整備を示しているのか。

事務局：2,000万円は水槽の整備ではなく、エレベーター設置の費用を想定している。水槽に関しても整備が必要であるが、現時点のところ、経費は算出できていない。

県西土木：子どもが安心して遊べる親水公園とあるが、具体的にはどこに整備する予定か。

事務局：具体的な場所は、まだ考えられていない。

県西土木：この親水は海水（海辺の近くの整備）を意味しているのか。

事務局：基本的には海水で、海辺の近くでの整備を想定している。

県西土木：琴ヶ浜の散策コースの整備ではだめなのか。（使いにくいということか）

事務局：そういう意味ではなく、住民からは真鶴港の周りに子どもが遊べる公園があったら良いという意見が出ている。

県西土木：現在の施設がすべてとは言わないが、今の施設でも十分楽しめる部分もあるので、不足している部分や活用するために必要なことなどを具体的に引き出してもらいたい。その中で県が対応できる部分是对応していきたい。特に、短期として掲げている項目は、そういった視点が必要と考える。

事務局：住民からはパブリックコメントを通して、具体的な意見を伺えるのを期待している。

県西土木：真鶴港の中に親水公園を作りたいということか。

事務局：住民の人は、真鶴港の中に整備されれば良いという意向で、その時の意見としては、子どもが遊べる遊具が備わっている公園をイメージされての発言であった。

県西土木：真鶴港の中に海水を活用できる親水公園の整備は、県としては少し厳しい感じがする。

県西土木：20ページの「真鶴港活性化整備計画イメージパース」は15年程度以前に県で作成したものであるが、具体的な提案等があれば、イメージパース自体を修正することは可能と思われる。

会長：石材業という言葉が記載されている部分は1か所くらいしか確認できないが、どうでしょうか。もっと記載しても良いのでは。

事務局：18ページに「地元産業（漁業と石材業）の活性化と担い手の育成」として記載しているが、人口対策や産業振興として、まずは担い手を育成して、小松石などを活かしたまちなみなどにも広げていきたい。

観光協会：岸壁を使う人が、町にお金を落としてくれるようなコンテンツを含んだ周辺整備が必要と考える。港の西側の船置き場が、宿泊でき、食事ができ、ヨットが入れて、日蔭茶屋のような雰囲気がある真鶴港になれば、将来的にはおもしろいのでは期待できる。そのためには、車で来る人たちは入りやすい港を将来的には目指していくべきで、大規模な改修、駐車場（有料）の整備が必要では。真鶴港でできることがイメージできることが必要。

会長：一つひとつ進めていただければ良いと考える。

(2) その他

・県西土木事務所小田原土木センター説明

*津波の監視カメラ設置の件

*整備工事の件

*台風22号による被害の復旧の件

第3回真鶴駅周辺地区構想検討会議 議事録

日時：平成31年1月30日(水) 10:00～12:00

場所：真鶴町町民センター 2階 201会議室

1 開会

それでは定刻になりましたので、第3回真鶴駅周辺地区構想検討会議を開催致します。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。町民センターは工事をしておりまして、暖房が使えないためお寒いかもかもしれませんが、ファンヒーターをご用意させていただきましたので少々我慢をお願いいたします。

それでは、第3回検討会次第の「2 議題」から進行を会長にお任せいたしますのでよろしくお願いいたします。

2 議題

(1) 真鶴駅グランドデザインパブリックコメントについて

・事務局より説明

・会長：色々意見があると思うが、パブリックコメントで意見を出してくださいということか。

・事務局：グランドデザインに関しては、パブリックコメントの意見募集のところで意見をあげていただきたい。

・会長：一つ意見があるがよろしいか。目指す姿、取り組みの方向性ということで、人口対策、産業振興、観光振興、生活利便性の向上という4つをあげている。p4がいいとっていて、みんなの想いがここに詰まっている。これを具体化した時に、もう一つ真鶴町の魅力の向上という柱が必要。あるいは真鶴町らしさの向上。これがないと人を惹きつけられない。5つの柱を立てて、駅周辺であれば美の基準に従ってという部分が真鶴らしさになる。今の4つの柱だと真鶴らしさが抜け落ちている気がして、真鶴らしさを継承しながらより良くしていくのであれば、真鶴らしさを維持・向上させるということも必要ではないか。それがなかったらただ人口を増やして産業を活性化するだけで、これではp4の想いは果たせないのではないか。検討していただきたい。

・事務局：真鶴らしさとは何かということも話し合いの中で出ており、p8にあるように真鶴らしさは向上するのではなくて残しておくという方向で作成している。

・会長：だから、例えば駅前を大幅に変えることで真鶴らしさが失われたらしょうがない。真鶴らしさをこの項目に入れなかったら、100年経っても真鶴町がちゃんと持続するためにということであれば、人口と観光と産業と生活利便性だけでは目的が達成できないのではないか。

・事務局：一般的すぎるということか。

・会長：そうではなくて、良さがあるからみんな惹きつけられているのであって、人が来るのであって、そこを見ないで施策を打つというのはそもそもの方向性として大事なものが抜け落ちていると私は思う。

・委員：全体での整合の中で、での話だと思う。交通で言ってしまうと全部利便、安全で終わってしまい、町民の方に聞く必要がなくなってしまう。町民の方の意見が入りやすいという意味でも、今のようところがより前面に出てもいいのかなと思う。

・委員：真鶴らしさがなくなってしまったら4つの柱もない。4つ5つではなくて全体にかかる。維持ということだが向上させなければどうしようもない。らしさは磨いていかないと真鶴はダメになってしまう。私は真鶴らしさがなくなったら東京へ戻る。

・会長：インバウンドにしても産業振興にしても、真鶴の魅力の向上ということが、それは真鶴だけではなく湯河原だって熱海だって小田原だって同じだと思う。ただ利便性が高くて人がいっぱいいて、産業が発達して観光客

が来るだけでは、これからのまちづくりは成り立たない。だから一番大事なところをちゃんと評価項目の中に入れていただいて、真鶴らしさや魅力というのは町民の方々が一番感じているところで、そこを大事にしていくということがグランドデザインのそもそもの目的ではないか。外から来た人もそうだし、ずっと真鶴に住んでいる人も、小さな幸せという意見もいただいているが、真鶴の方々が大事にしているものが何か駅前対策や交通対策によって失われたら元も子もない。

事務局：非常に大事な意見なのでパブリックコメントでも出していただきたい。

会長：この検討会から出た意見としての扱いではないということか。

事務局：この会から出た意見ということで扱うことも可能ではあるが、想いがそれぞれあるだろうから、パブリックコメントに出していただくほうがいいという思いもある。

会長：決めるのは私ではなく町民の方々。ただ項目がこの4つだとグランドデザインとして一番大事なものを落とした状況だなと思う。

事務局：この会としてのパブリックコメントにさせていただく。想いも書いていただけるとありがたい。

会長：わかりました。後で書きますが、この会の中で意見として出たということをお願いしたい。

事務局：わかりました。

会長：一応グランドデザインは報告で、本当の議事は(2)のところになる。

(2) 真鶴駅周辺地区構想について

・会長：私自身もグランドデザインの中で、例えば生活利便性の向上に◎とか、中期と書いてあるが短期ではないかと思うものがあつたので、両方見ながら意見を出す形でよろしいか。

・事務局：はい。

・会長：では、座席順にお願いします。

・委員：お金をかけずに今あるいいものをうまく使えばそこそこやれることがある。ロータリーのところで言えば、跨線橋の下の電話ボックスのところ。あそこは子ども連れで遊んでいる人が結構いる。恐らく移住者。説明会の時に、東京から来たお母さんが東京は子どもを遊ばせるところがあるが真鶴にはないと書いていた。城山公園は遠い。あそこは駅員もいるし、派出所もあるし、昼間タクシーの運転手さんもいるし、あそこは安全。コンビニもあるしトイレもある。あそこをうまく利用できないか。

駅前には15分無料の駐車場がある。我々の意識改善も必要だが、あそこで15分あれば送迎はできる。あそこをうまく使えるようにしたい。そのためには裏へ抜ける道を改善しないと使いにくくて仕方がない。色々な権利関係があるだろうがなんとかならないか。あそこを改善すると駅にも行きやすくなる。小田原の駅もそうだが、5分、10分だったら無料というところがある。そういうところをうまく使いたい。ただしあそこは出入りがものすごく危ないので、そこは技術的に解決しないといけない。

トイレのところは汚いし、暗いし、臭いし、誰かがやってくれるだろうではなくて我々が意識改革しないといけない。あそこは禁煙だが臭くしょうがない。駐車場の出入り口のところもタバコの吸い殻がある。そこをちゃんとしないと観光客は来てくれない。あまりお金をかけなくていい。夏は日陰になってあそこは涼しい。うまくやりようがあるのではないか。

交通処理はプロに任せて、一番いい解決策を提案してもらわないと。個人的な意見としては、スピードが30km以下、20km以下に落ちれば、甚大な事故は起こらないので、まずあその区間を速度制限するようなエリアにしてはどうかと思う。そのためには信号の処理等必要かもしれない。自然渋滞はせいぜい10分。これ

はしようがないと思う。

・会 長：駅・ロータリーという項目の中の、「駅ロータリーの実態調査や、公共交通の活性化や再生の考え方も取り入れた、利用ルールの変更」というところで、そこに専門家も入れてしっかり検討したほうがいいということ、私も駅・ロータリーのところに加えてほしいと思っているので委員と同意見なのがトイレの改善。これは別項目を立ててほしい。トイレ周辺的美観の整備でもよい。子どもの遊び場については、「観光客も地元の人、いつでも誰でも気軽に立ち寄り、ちょっと座って会話ができるスペースや子どもの遊び場の整備」のようにしてはどうか。トイレは絶対に別立てにして、あそこをもっともなしの空間にしたほうがよい。短期、中期、長期を考えてやってほしい。

委 員：駅前のもあるが、町民のためになるかということが一番大事だと思う。ランドデザインで書かれていることが果たして町民のためになるか。老人対策で、港の近くでもし災害があった時に、十分な啓蒙だとか津波が来た時の高齢者の援助方法だとか、そういうことにお金を使ってほしい。ランドデザインが町民のためになるかという違和感を感じる。

事務局：ランドデザインには真鶴港周辺地区の記載もある。他の地区の記載もまたお読みいただきたい。真鶴港周辺地区はこの会議に直接は関係ないが関連しているところもある。主に産業振興だとか、観光振興がメインの記載になっているが、委員が言われるようにp19に「避難港及び災害時の緊急物資受入拠点としての防災機能の強化」とあり、真鶴港は神奈川県所有で町が指定管理となっている。p20にイメージパースを載せており、この辺にも子どもの遊び場がほしいとか、津波対策として防災機能を持った建物ほしいとかいう意見も出ている。委員のご意見もパブリックコメントの意見として出していきたい。

委 員：当初の計画から3階建ての建物をつくるというのが消えている。代わりに地下街をつくるとなっている。どうして変わってしまったのか。子どもの遊び場や交通対策について意見があったが、トイレの前の待合所はあまり観光客が利用していない。ロータリーのことも含めて総合的に考えていただきたい。夜10:00を過ぎてバスが動けなくなると送迎の車でロータリーがいっぱいになる。北のロータリーがないから北の人たちがぐるぐる回って送迎に来るのであって、北のロータリーがあれば線路上のほうで送迎でき、20台30台置けるようなところがあれば解決する。町の活性化のためには駅を挟んで自由に行き来できるものがあつたほうがいい。

会 長：その他のところに入っている「南北を結ぶ道路・橋りょうの整備」とトイレの整備。地下道でなく地下街となっているのはどこから出てきたのか、真鶴の地下街はちょっと考えられない。

事務局：地下街については、今は地下道しかないが、例えば災害が起きた時に、観光客が雨風をしのげて滞留できる場所が必要ではないかと、こちらはランドデザインなので長期的な目標も掲げている。一つのアイデアとしてそういうことも考えられるのではないかと。

会 長：だったら図書館を使えばいい。

事務局：そういう場所も必要だし、真鶴中学校が避難所になっているので、そこへの行き来も自由にできるように中学校のほうまで行けるようにするとか、そういう大きなことで、幼稚園生でも書けるようなことでもいいというコンセプトで意見も掲載している。

事務局：あくまで作るという前提ではなくて、こうしたらどうだろうという提案的なものも含めている。

会 長：100年経っても地下街はいらない。地下街やる前にトイレをやらな。これはどうするかちょっと保留。

委 員：送迎車の問題については、JRの北側に土地がある。あそこを解放してもら。現在は中学校の入り口に送迎車がいる。あそこをもう少し広げたらいい。私が言っていることがわかる方はいいか。駅周辺の現地をみんなで歩いて見てみたい。家を買うのにネットで見て買う人はいい。できたらみんなで現地を見てほしい。真鶴駅も

跨線橋の階段を降りたところにあんなに広いスペースはいらない。椎の巨木が2本、跡がそのままになっている。そこをきれいにして子どもの遊び場にしたらいい。現地に行ってみたいとわからないのではないかと。

会 長：その他のところにある南北の連絡の部分をもっとちゃんと項目立てしたほうがよい。ロータリーの利用実態というのと南北の話というのはたぶんつながっていて、それをトータルで専門家の先生などを軸にご意見をいただいくということが重要ではないかと。

委 員：郵便局の裏の隧道は調査がもう始まっている。それだけお金をかけて南と北をつなぐ必要があるのかと私は思う。静かなまちによその車が入って来られる、と思う。今車は売れているか。若い方が免許を取らない時代で団塊の世代が車を手放した10年後、車はどうなるか。ちょっと待てばよいのではないかと。

会 長：隧道も含めてトータルで南北の連絡ということ、隧道1個だけとか北口とかにするとはよくなくて、トータルで検討という中で隧道があるのかいないのかというような話も出ると思うので、南北の連絡について総合的に検討するということが必要。その他に入っているものを整理して、総合的に南北の連絡について検討するということではないかと感じた。

委 員：p3に「協議の経緯」とあり、3月に公表とあるが町民に問わないのか。ただ決まりましたからこれをやりますよでは、湯河原との合併の話の時に、当時の町長が一軒一軒を訪ねて合併の意義を伝え説得して回った。ところが住民投票でひっくり返ってしまった。真鶴はそういうところ。だからちゃんと町民に問わないといけないと思う。

事務局：ランドデザインの案をもとにパブリックコメントをいただきたい。意見によって案の修正も考えられる。修正したものを公表するというスケジュールで考えている。

事務局：ランドデザインということであって、直近の計画という話ではない。まったく正反対の意見もある中で、町の方向性として示させていただいているものであって、必ずこうしますよという決定事項ではない。ランドデザインを作るにあたって最初からそういう説明をしている。あくまでランドデザインであって、こうしなければいけないとかこうしますか、そういう意思表示ではない。様々な意見を聞いた中で町の方向性であり、決定事項ではないと受け取っていただきたい。パブリックコメントのご意見を踏まえて修正したものを公表していく。

会 長：こんなふうになつたらいいということで、実現するものもあれば実現しないものもあるということ。だが、意外とどこかで効いてくる。10年前にこれ作っていたよねと。色々な自治体で耳にすることなので、書いてあることは法的拘束力はないと言いつつも、10年前にこういうことを書いていたからやりますよと言って隧道がドンとできたりとか、こういうのは色々な自治体でよく経験している。あまり夢だけを書くのではなく現実を踏まえて、あり得ないようなことを書くとか色々で後で引きずる。

委 員：町民の意見が吸収されているかということ。町で2、3回説明会をやっているが、私が行っても来る町民は20~30人くらいで盛り上がっていないから、町としても大変だと思う。パブリックコメントを締めた後、どのように集計して、町民の総意としてすべての人が賛成することはなく反対の人もいるし、意見を言わない人もいるから、町の計画と町民の総意の差が出てしまうのではないかと。後々トラブルになるのではないかと。町民の賛成多数の意見でもってそれを参考にするという方法しかないのではないかと。意見の集約はなかなか難しいのではないかと。

事務局：ランドデザインを語る会ではない。パブリックコメントをしているということでご紹介したまで。この検討会は、ランドデザインの中で、短期的にできることは何かということを検討していくもの。ランドデザインについてはパブリックコメントのほうでご意見をいただきたい。何かを動かす時には計画となって公表される。これは計画ではなく、ランドデザイン。ランドデザインが決まりましたから決定ということではない。もし大きなことをやるので

あれば、町民の方にお話しがいくはず。そのあたりを懸念されているかと思うが、今パブリックコメントをやっているので、ご意見があればパブリックコメントのほうでお願いしたい。

会 長：時間がないので次の方へ。

委 員：ランドデザインは今後のまちづくりの参考にするものとのこと。この検討会は、最初の会の目的からすると、計画の実現に向けて具体的な取り組みを考えるという会なので、ごちゃごちゃしている。地下街の話とかヘリポートの話とか、我々が検討していないことがポット出てきている。そう考えるとランドデザインは町の上から考えていく参考までのものなんだと思う。参考までのものの主要地区にある駅周辺の具体的なことを考えるというのはどうということなのかよくわからない。意見としては、駅前のパチンコ屋がつぶれてしまって解体工事が始まって、あとを具体的にどうするのかわからないし、あそこの活用も考えていけばいいのかなと思うし、商店街の建物を木材とか統一的な建築物ということになると、建築基準法の中での建築協定とか地区計画とかということも考えられるし、今ある美の基準に基づくまちづくり条例もまちづくりに合わせて適切に改正したり見直ししたりということが必要なのかなと思う。

会 長：エレベータの設置、短期とあるが。

委 員：最初に検討委員会で南北の分断というのがあった時に、隧道の幅幅とか、エレベータは片方しかないが県のほうでやってもらえれば一応人は渡れる。やるかやらないかわからないが、JR が駅の改修をした時に、橋上駅舎にすれば南北通路ができるかなと。総合的に考えていけば一つずつ考えられる。それは検討委員会として考えること、渋滞解消とか、南北の分断とか、そういうところは盛り込んでいきたい。

会 長：この検討会でメインになるのは南北問題とロータリー、個別にするとわかりづらくなる。

委 員：代理で来たが、ランドデザインの話になって何を検討したらよいかわからなくなってしまった。現状の報告をする、エレベータは JR と協議し、構造の検討の段階にあり、実現に向けて進んでいきたい。交差点改良は国道、県道の絡みになる。安全対策と渋滞対策は相反まではいかないとしても、渋滞対策となれば車を通す、安全という意味ではスピードを抑えたほうがいい。今は具体的なものがないのでお話しできないが、細かいものが積みあげられればと思う。

会 長：駅前交差点をどうではなくて、国道道を含めた駅周辺の安全対策ということ。駅ロータリー部分の使い方の変更と、国道道の安全対策について、まとめて検討することが大事ではないか。

委 員：前回欠席してしまって議事録をみたが、現時点で警察のほうで言えることはない。信号の現示を変えるにしてもそれだけやることはできない。町の方の意見を聞きながら具体的な方針が必要。現示を一つ変えるだけでもその他のところに影響が出てしまう。全体的に検討できればと思う。

会 長：国道道の安全対策とロータリーの円滑化を総合的に検討していくべきだというお話。

委 員：代理で出席した。ロータリーを含めた全体のデザイン、幅幅は別としても交差点の改良などで意見したい。真鶴らしさという中では、ロータリーはこれ以上の幅幅はできないだろうし、バス側とすればバスも中型小型化しているので、うまくルールが決まれば整理が可能になると思う。ロータリー内に送迎車輛が入ると点については、分離されていない限りそういう問題が各駅である。町民の利用のルールをしっかりともらえれば調和ができる。ある程度無料の駐車場を活用すればロータリー内の混雑は避けられる。ぜひよろしく。

会 長：ロータリーの話と国道道の安全対策は同じなので、くっつけて短期ということで検討したほうがいい。

委 員：前は、駅の橋上化、ロータリーを広げる、駅前の国道のあり方、そういった長期のものをやっていた。今の話を聞くとトイレをきれいにしなきゃとか、碑のところを公園にするとか、ある視点での話になっていて時間の感覚がおかしい。今何かをやる、将来のことをやる、その中で全部ぐちゃぐちゃになっている。南北のことそう。トータル

でみると前回の話と随分違う。「改札口の橋上化」とかあるが私にはどうもピンとこない。話を聞いていると今のロータリーでどうしようという話が進んでいる気がして、中期長期の視点がまるでない。ヘリポートなどが出てきているが、夢公園で実際にもうやっている。こんなものは要らないし、商店街の活性化は大切だとは思いますが、現実味があるのか、10 年後どうするか何が具体的に出せるのか。p 11 に商店街の振興、産業の振興とあるが何が具体性があるのか。作るものは作りました、だけど維持することができません、人もいません、何もありませんではダメ。来ることを期待するようなことはダメ。やらなければ人も来ないが、私の中ではどうも時間がかみ合わない。書いてあることは立派であっても、中期長期の実感がわからない。だからトイレはトイレで、ここで話すことではなくて、今すぐ町と駅が交渉してやればよい。それで観光客が増えるのであれば、ここで話すのはトータル。むしろ感じる。私からポジティブな意見が出ないのは申し訳ないが、聞いていてどうにもこれがランドデザインなのかなという残念な気持ちである。

会 長：喫緊で困っていることがあるのでできることをまずやって、長期的にはこれができてからということもあるので、そのあたりはある程度やむを得ない。お金がいっぱいあるわけではないので、困っているところを今解決しないと、ということ。

委 員：私も代理で素人の意見になってしまうかもしれないが、真鶴らしさということ言えば、もっと真鶴を知ってもらうということになると思う。そうすると情報発信がすごく大事になる。例えば伊豆の淡島では、アニメでまちおこしをしている。地域とのコラボレーションでグッズを販売しているところもある。真鶴のお林では、キャンプ場を作ったりすれば今は結構人気もあるので、観光客が来るのではないかな。農協では直売所をやっている。地域の皆さんは来てくれるが、観光客はなかなか来ないので、アピールをしてみようと思う。日本全土では過疎地域になるところがたくさんあると思うが、成功例を参考にしてやったほうがいいのではないかな。

会 長：もうちょっと色々勉強しようということ。

委 員：検討会そのものの役割は何なのか、今日も聞いていてちょっとわいてこない。毎回毎回市民の声、関係者の声を出しているけれど、それがこの検討会の中に組み込まれていない。パブコメやりました、それでどう意見は集約します、じゃあそれを介して検討会はどういう位置づけになっているのか。本来であれば私の想いは、検討会で構想を作って、将来の計画があって、そこにランドデザインに駅周辺だけは組み込んでいこうなと思っていたが、前回の会議では時間軸との差があるので、パブコメで意見をもらって、駅周辺はなんか置き去りみたいな。真鶴らしさ、真鶴の 100 年といったキーワードがいろいろ出てくる割には、切り開いていく検討会としてのあり方がちょっと違うのではないかな。真鶴らしさ、いいキーワードがいろいろ出てきているのに、ただ会議を重ねて意見を出してもらってそれはパブコメで言ってくださいではなくて、本当の検討会のあるべき姿は違うのではないかな。色々な意見があって、どこにどういう資料に反映されてとか、そこも見えない。鉄道目線かというと、基本計画からランドデザインに採用しなかった事項をみると、自由通路、駅舎移転は削除なのに橋上駅舎で載っているというのはよくわからない。整合性がないから、何が目的で何をやりたいのか、前回の会議では身の丈にあった真鶴町とか、いいキーワードがいろいろ出ていたのに、100 年という大きなスパンになってしまっている。ちょっとその辺が検討会のあるべき姿というか、整理するとか、皆さんがこれ程意見を言っているが、それを会議の度に反映されていなかったりとか、検討会のあるべき姿をもう一度整理する必要があるのではないかな。できるものからやろう。将来を語ろう、色々な目線は当然あるだろうが、その中をどうまとめていくかというのがこの検討会ではないかな。議事録を前回もお願いしたが、一般の検討会、色々と参画させてもらっているが、議事録確認を普通やってから提出するのが一般的かと思っている。一方通行ではいやりました、今日見ると違った意見なのに他の人の名前の上にかがせられている。検討会そのもののあり方、事務局は改めてほしい。

会 長：おっしゃるとおりで、書いてあるものはポロポロ落ちていて何かが残っている、どうしてこうなったのか私もわからない。おっしゃるとおりなのですぐ納得した。

委 員：駐車場から出る時にもすごく危険。小田原から来る車とこちらから入ろうとする車、何秒間かの時間差をつけてもらえないかという話を以前もした。それをやるのはものすごく大変だと聞いた。湯河原との間の信号は少し時間差があるようだ。ちょっとの時間差があるとだいぶ違うのではないか。パチンコ屋さんのところもランドデザインでは網羅するのではないか。あそこは町の土地なのか、どこ土地なのかかわからないので、具体的なことがわかっていないと無理ではないか。駅前はずっと一番は交通面。お子さんが遊ぶ場所は、もしかしたら竹藪になっているところ、そこが誰の土地かわからないがそういうところならそれほどお金もかからないで具体的なものができるのではないか。

会 長：パチンコ屋さんの土地とか少し広めに含めて、駅ロータリー周辺のルールだとか駐車場だとか、県道の安全対策というのをトータルで検討するということなので、ランドデザインで実現したいまずは最初の第一歩になるかと思う。

委 員：ロータリーなどは専門家の方に検討してもらって時間をかけないといけないものではないか。住民の生活に関わる部分で、「観光客も地元の人、いつでも誰でも気軽に立ち寄り」というのがあがるが、福祉のほうでもサロンをやっていて、真鶴は少子高齢化ということで集まれる場所が必要。なかなか公共施設を使ったりしても常設的にできていない。もし、常設できる場所があれば、観光客も増えたりするのではないか。「公共施設の有効活用の検討」とあり真鶴中学校を指していると思うが、先ほど災害の話があったが、長期ではなくて、町の防災計画の話かここで話かわからないが、町のほうで担当課に話をしてもらえればよいのではないか。トイレの話の際に、駐車場と通路にタバコの吸い殻がという話があって私も感じている。どの駅にも喫煙所があるわけではないがかなりの確率で駅の近くに喫煙所が設けられている。健康の面でいけばタバコを吸わないようにということになるが、吸わないようにできるかという現実には難しい話。そうであれば吸える環境を作ることルールを守ってくださいということではないか。

会 長：「いつでも誰でも気軽に立ち寄れる」というところをもっと幅広く、町民のお年寄りの方とか子どもとか、地元の人というのを広げられるとよい。トイレのところもいつでも誰でもちょっと座れる場所でもある。

委 員：鉄道の関係の工事人で JR 東日本の工事をだいぶ長い間やってきた。小田原の東西通路を 122 億円でやらせていただいた。真鶴町の町長と出合いがあり、真鶴もなんとかしなくてはならないかと思っていると聞かれて、町の企画に入りにさせていただくようになって、なんとかしようじゃないかとなって、こういう会のメンバーの一員としてご指名をいただいた。駅を中心とした骨格というのは色々あると思う。皆さんが論じておられることは大変結構なこと。前回、駅前広場の用地はどちらのものかと尋ねた。JR の土地だということだったのでそれなら話はまた違う。今は動向を見守っているところ。熱海の駅の駅ビルも工事が終わったが、駅を動かすと色々関連性が出てくる。あまり完全性を求めるとできないのではないか。昭和 28 年に北側の採石を取って採石専門の乗降場が当時はあった。採石だけを搬送する線路を一本わざわざ増やして作ったような経過がある。幅広く考えることもよいが、一つひとつのポイントをまとめていかないと、なかなか大変ではないかと思う。駅前に鉄道専門のいい技術屋がいる。今回この会の委員をやらせていただいて色々地域勉強をさせていただいた。鉄道をどうすればよいか、一括して希望を入れてやっていかないとまとまらないのではないか。

会 長：言い忘れていたが、世の中はコンパクトシティというか、駅周辺にもっと集約して投資して、骨格を決めましようというのが国全体の動きなので、本来交通だけではなくて駅周辺の安全安心など、駅を中心に色々変えて考えましようという方向であることは間違いないので、大事な発言だったと思う。

委 員：まとめようと思わずに発言しようすれば色々あるが、ランドデザインのオレンジ色の部分をベースに話をすると、「まちの門口」と言っている。このメンバーではなんとなく「まちの門口」の意味を共有していると思うが、町民にとっては門口とはなんだということ、駅は中心だが駅に何でも集めて駅から半径 50m に全部ものがあるという駅中心型ではないということ。あくまで入口。駅で少し佇んだり、駅に人は集まってほしいけれども町に出てください、町の南北をうまくつなげてその間に駅があって人もいれるよと、中心だけで中心は本当は駅の外ということ。それを受けて方向性が出てきていると私は理解しているが、それが読めない。駅に全部集めちゃいましょうの一步手前でやっていくというのはすごく大きなメッセージ。あとは時間軸でいくとたぶん中期と長期の間がないのではないか。今の土地の中で、ただお金をかけてやらなければいけないことは恐らく中期のちょっと短いもので、比較的未利用という怒られるが低利用地、駐車場の様なものも考えながら、だけど、どてかい構造物は作らないで何かをやっていく。身の丈のというのはたぶん中期のちょっと長め。だから中期の長めがない。読めない。今まで議論していたのはそのあたりなので、今まで議論したことを入れればよいだけだと思っはいる。パブリックコメントにはなってしまうが、ランドデザインに入れられないわけにはいかないかと思う。南北の交流を促すような南北連絡のための施設整備の検討とか、ランドデザインの 15、5、3 が混じったような記述になるのかと思う。これは事業計画ではないということなので、橋上なのか線路の下を抜けるのかはあえて入れなくてよくて、何のためにやるのかというところはわかるように書く。何のためにやるのか書いてないのに何をやるのかだけ書いてあるというのはやめた。

会 長：色々な方から意見があったように、この会議で話に出なかったことが書かれていて、パブコメとかで南北の連絡をよくして活性化するようにすると、パブコメでも駅前地下街を整備するというのが出てしまったらどうしようという不安がぬぐえないのが現状。そこがブラックボックスになっていて見えづらいうことを皆さん気にされていて、今まで議論されていなかったことがここに書かれているのはどうしてかというモヤモヤ感がある。今パブコメをしているが、パブコメが終わった時にここで出た意見がちゃんと反映されるのかという不安をかなりみんな持っていると思う。

事務局：ランドデザインは、ランドデザインの会議や説明会の中で出た意見をもとにまとめられているもの。この会議は真鶴駅周辺地区構想検討会議で、多少重なるところもあるが、この会議をもとにランドデザインが進んでいくというものではない。町民の方から広く意見をいただくという部分で、駅のほうにも港のほうにもその意見が載っている。先ほどお叱りを受けた部分もあるが、この会の意図するところはランドデザインではなく、今日はランドデザインのパブリックコメントをしているという紹介をさせていただいたに過ぎない。それをこの会に重ねてしまうとわかりづらくなる。この会で話したことがなぜ載っていないのかというのが皆さんの気になるところだと思うが、この会の意見としてランドデザインに対してこういう意見がありますよというのは出していない。何故ならこちらの会は最初からビル建てるなどの話から入っている。やめました、やめません、ランドデザインではこうですと、話が一緒になってしまっているのは申し訳なかったが、筋道を先に整理できたらよかったですと今思う。

会 長：逆に言うと、真鶴駅周辺地区構想検討会でせっかく色々な関係の方々に出させていただいて、議論した成果は何になるのか。

事務局：この会を始めること自体がそもそも何のためにということがあると思う。駅周辺の町民、利用者いかに心地よく使用していただけるか、もしくは町民のために何ができるのかということを中心に考えている。ただ、町の土地ではないため、町の土地であれば皆様に集まっていたらいいんだけど喧嘩 譁々していくのであれば、町も主体となって方向性をつかんで、やっていく計画が作りやすいが、県道は県、真鶴駅やロータリーは JR、町がやるよと言ってもできる話ではないので、この会でとりまとめて、とりまとめたものを要望していくしか方法はない。

会 長：報告書みたいなものは作るのか。

事務局：まとめのほうはやるが、意見を集約したからといってそれがすべて結果が伴うというようにはできない。

会 長：もしランドデザインに反映したいのであれば、町民の3名の皆さんにここでこういう意見が出たと言っていたくしかないということか。

事務局：検討会は、皆さんの意見はこうですよ、改良とかそういう話になった時にはこういうように話されているので、あくまで要望だが町としては会議を重ねてきてこういう意見になっていますというのはいかなる。

会 長：報告書みたいなものはできるのか。

事務局：作る。

会 長：皆さんはそれで確認できるということでしょうか。

事務局：2年間ということと約束させていただいているので、その中で町の意向としてまとめることを目指している。計画としてこれをやりますという話にはなっていないので、その前段としてご意見はこうですよというのを、関係の方たちにも入ってもらってまとめたかと考えている。

委 員：真鶴駅周辺地区構想検討会報告書というものができるのか。

事務局：完成品自体はそうなる。

会 長：それをみんな確認できるということか。そんなことは言っていないか。

事務局：そのとおり。

会 長：今日出たランドデザインに関する意見は町民代表の3人に頑張ってもらうしかないということでしょうか。

事務局：来年度の予算で駅ロータリーの利用に係る調査、商店街の店主への聞き取り調査をする委託事業を考えている。その結果が出たところでご紹介させていただき、意見をいただいた後集約することを考えている。

会 長：ロータリーの使い方のルールなどは専門の先生を中心に検討いただき、検討したたき台に皆さんで意見を出すというのが効率的だと思う。ルール自体をここで考えるとと言われてもたぶん無理。専門の先生や警察の方に案を練ってもらいたい。

事務局：ルールを考えるにあたってどういう方向にもっていけばよいかということで、ここでは無理。専門部会のようなものがあつた場合にルール化していく。

会 長：今のでいたい納得できた。

(3) その他

・来年度調査をした後、結果をお示しするが、事例等、4～6月の間で第4回の検討会を開催したいと考えている。
会場、日程等についてはまたお示しする。

3 閉会

以上を持ちまして第3回真鶴駅周辺地区構想検討会議を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。



～ 真鶴町グランドデザイン ～ 職員ワーキング（第3回）を開催しました

職員としてできること、望むこと
真鶴町グランドデザイン（案）を参考に語ってみました。

●グランドデザインについての感想、Q&A●

- ✓ ふだん行かないところの取り組みになるほどと納得した
- ✓ 本当にできるか不安、やることが多いので優先順位が大事と感じた
- ✓ 見やすいし、わかりやすい言葉で作成されている
- ✓ 現状維持の視点と、大きく変える視点の両意見が反映されている
- ✓ これからのまちのイメージがついた

●若手職員の皆さんへのエール●

- ✓ SDGs も地方創生も目指す Goal があって初めて1本の柱ができる
- ✓ こうした長期構想がある自治体はほとんどなく、誇りにしてほしい
- ✓ 今後、5W1Hを使い、施策や事業を具体化していくことが必要
- ✓ その役割は若手職員の皆さんも担っている
- ✓ 一つずつ形になり、町民から喜ばれることで働きがいは増す
- ✓ 100年後の町を見ることはできないが、「あなたのお父さんお母さんはこんなに素晴らしい仕事をしていた」と言われるよう、職員一丸となって取り組んでほしい

●大きな構想の実現に向けて得たい協力●

- | | |
|--|---|
| <p>《 町民からの協力 》</p> <p>住んでよかったと思われるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 意見を出してほしい ✓ グランドデザインを理解する・興味を持つ ✓ イベントに参加する | <p>《 職員からの協力 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ グランドデザインを理解する ✓ グランドデザインに興味を持つ ✓ 町民とのコミュニケーションを自然にとれるようにする ✓ イベントに出て、距離感を縮める ✓ 上司等からバックアップがあり、働き甲斐を得られるようにする |
| <p>《 町外からの協力 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 発信し、町外の人にも理解する | |

●実現に向けて自らできること●

- ✓ 実現に向けて動くグループ・組織が必要で、そこに参加できる
- ✓ 町民が話を聞いてくれる関係性をつくる（自分の知識も増やす）
- ✓ 町民の意見を聞き（イベント・自治会等への参加）、町民の目線で考える
- ✓ 半島に外国人を呼ぶなど、構想を具体的にしていく

職員ワーキングはこれでおしまいです。皆さん、お疲れ様でした。



幸せをつくる 真鶴時間

Find happiness in Manazuru

真鶴町観光グランドコンセプト

真鶴町で過ごす時間には、すべての人に幸せをもたらせてくれる要素が詰まっています。
「幸せをつくる真鶴時間」は、“自然の恵み・人々の営み・催し” からなる真鶴ライフを表現したものです。(平成29年3月23日)

幸せをつくる真鶴時間

神奈川県西の西、ちょこんと顔を出す小さな港町。真鶴。

人々の営みは、昔のまんま。

歴史を育み、どこか懐かしく感じる風景や町並み。

人の温かみを感じられる手作りにこだわる職人さん。

近所のおばちゃんも真鶴のお母さん、おじちゃんも真鶴の物知り博士。

真鶴にもたらされる自然の恵み。

お林の恵みを受けおいしく育った魚たち。

斜面を生かして太陽をたくさん浴びた柑橘類。

町の繁栄を支えてきた町並を彩る本小松石。

それはわたしたちにとってみんな宝物です。

人々の営みと自然の恵みが結びつく場所。

約束などしていないのに、惹きつけられたように集まる人々。

伝統行事「貴船まつり」をはじめ、小さな催しもそのひとつです。

素朴ですが、ゆったりとした時間の中でホッとします。

だれでも受け入れてくれる、人のぬくもり。

ちょっと町へ出ると、いつもの顔にたくさん出逢える。

“幸せをつくる真鶴時間”

発行：真鶴町

編集：真鶴町企画調整課